

令和4年 第2回

区づくり推進横浜市会議員会議

<議題1>

令和4年度個性ある区づくり推進費の執行計画について

(P1~P26)

<議題2>

令和4年度港南区に係る予算の全体像について (P27~P28)

令和4年6月8日

港 南 区

総括説明書

1 予算の考え方

愛あふれる♡ふるさと港南に

港南区では、新型コロナウイルス感染症の影響で見えにくくなった、人と人とのつながりが再生し、これまで以上に地域活動を活発に行えるよう、コロナ禍で得た気づきを生かしながら、しっかりと準備を進めます。そして、皆様と一緒に取りまとめた「第4期港南ひまわりプラン（令和3～7年度）」の取組を着実に進め、地域を取り巻く様々な課題の解決に取り組むとともに、※デジタル技術を活用した区民の皆さまの利便性向上、満足度向上などに積極的に取り組みます。

また、感染症対策に配慮した「防災・減災」の取組、コロナ禍においてもつながりがより深まる「見守り・支えあい」、行動変容が求められる日常生活を意識した「健康づくり」の取組を重点に進め、未来を担う子ども達がいつまでも住み続けたいと思える「愛あふれる♡ふるさと港南」を目指します。

※デジタル区役所の実現に向けた取組

区役所デジタル化推進事業のモデル区として、自主企画事業費においても、デジタル技術を活用した迅速・効果的に伝わる情報発信について検討を進めるほか、自治会町内会のICT活用支援に取り組みます。さらにイベントや講演会等を直接体験すること（リアル）と間接的に体験すること（オンライン）を併せて行うこと（ハイブリッド）など、区民の利便性や満足度の向上につながる取組を行います。

2 港南区予算 区分別総括表

（単位：千円）

区 分	令和4年度	令和3年度	増△減
自主企画事業費	107,590	107,474	116
統合事務事業費	51,681	51,421	260
区庁舎・区民利用施設管理費	771,038	754,221	16,817
合 計	930,309	913,116	17,193

3 港南区予算 内訳

（単位：千円）

区 分	予算額 (前年度)	説 明
自主企画事業費	107,590 (107,474)	主な事業
安全・安心のまちづくり	22,434 (25,353)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくり事業 ・安全で快適な生活推進事業 ・安全安心まちづくり推進事業
見守り・支えあいのまちづくり	20,148 (19,223)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉保健活動推進事業 ・障害者いきいき生活応援事業 ・地域カステップアップ事業
誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり	22,305 (22,574)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康アクションこうなん5推進事業 ・地域で子育て応援事業 ・高齢者元気応援事業 ・地域スポーツ応援事業 ・区民活動・生涯学習支援事業

区 分		予算額 (前年度)	説 明
	住み続けたいまちづくり	25,767 (28,137)	<ul style="list-style-type: none"> ・うるおいのある美しい街づくり事業 ・歩行者サポート事業 ・港南区地球温暖化対策推進事業 ・みんなでつくるふるさと港南事業
	正確・丁寧な行政サービスの提供	16,936 (12,187)	<ul style="list-style-type: none"> ・こうなん区政推進事業 ・快適区役所推進事業
統合事務事業費		51,681 (51,421)	
	統合事務費	30,636 (30,003)	局が定めた一定の条件に基づいて執行する事務費(生活保護事務費などの事務経費)
	統合事業費	21,045 (21,418)	自主企画事業費から分離した各区に共通する事業
区庁舎・区民利用施設管理費		771,038 (754,221)	
	区庁舎等	153,222 (134,936)	総合庁舎 土木事務所 区民活動支援センター 行政サービスコーナー (2 か所)
	地区センター等	186,806 (186,806)	地区センター (5 か所)・スポーツ会館 (1 か所)
	青少年施設	8,199 (8,199)	こどもログハウス (1 か所)
	公会堂	45,430 (45,192)	(1 か所)
	区民文化センター	142,619 (142,619)	(1 か所)
	老人福祉センター	78,834 (78,834)	(1 か所)
	コミュニティハウス	90,242 (89,995)	(7 か所)
	区スポーツセンター	43,650 (45,268)	(1 か所)
	区庁舎・区民利用施設修繕費	7,164 (7,500)	
	その他	14,872 (14,872)	国際交流ラウンジ (1 か所) 遊び場 (7 か所)

令和4年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業費主要事業

港 南 区

1 安全・安心のまちづくり

【22,434 千円】

自分の身は自分で守る「自助」、となり近所の助けあいなどの「共助」への理解が進むような啓発を積極的に行い、地域・事業者との連携により、安全・安心のまちづくりを進めます。

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>1 災害に強いまちづくり事業</p> <p>【重点】</p> <p>R4 予算額：12,826</p> <p>R3 予算額：15,056</p> <p>増△減：△2,230</p> <p>《防災5箇条》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合おう！家族の連絡どうするの？ ・備えよう！最低でも、食料、飲み水3日分 ・圧死から身を守ろう！家具の転倒防止と耐震対策 ・避難時は！電気・ガスの元栓切って ・地震だ！となり近所に声かけて、まずは「いっとき避難場所」 <p>*トイレパックも忘れずに！</p>	<p>港南区「防災5箇条」を具体的に周知しながら、防災・減災対策に対する自助・共助を推進し、災害における被害を軽減</p> <p>1 地域防災力の向上 【10,776 千円】</p> <p>(1) 在宅避難の推進</p> <p>ア 在宅避難のための備えをわかりやすく解説した「在宅避難啓発リーフレット」を各種イベントや地域で積極的に配布し活用</p> <p>イ ホームページや出前講座等において、食料、トイレパックなどの備蓄や家具の転倒防止対策を紹介するなど、在宅避難の備えを啓発</p> <p>ウ 広報よこはまのコラムで在宅避難の重要性や必要な備えを紹介し、広く区民に向け周知(9月号(防災特集)、11月号、3月号(ミニコラム)で掲載予定)</p> <p>(2) 子どもや子育て世代への防災啓発</p> <p>ア 次世代の防災の担い手に対する啓発として、「港南区防災ガイド【中学生編(令和2年度改訂)】及び【小学生編(令和元年度改訂)】」等を活用した防災授業を促進(今年度分の防災ガイドは5月に配付)</p> <p>イ 小学生親子を対象にした市民防災センター見学等のイベント「ひまわり防災イベント」を港南消防署と共催により実施(8月18日・19日)</p> <p>(3) ハザードマップの増刷</p> <p>区民の防災・減災意識の向上のために窓口や各種イベントで配付しているハザードマップを増刷し広報に活用</p> <p>洪水と内水氾濫が一枚にまとまった浸水ハザードマップ及びマイ・タイムラインをパッケージで全世帯・全事業所に配付予定(7月下旬～8月中旬予定)</p> <p>(4) 地域防災拠点機能強化</p> <p>ア 地域防災拠点の機能や役割等を理解していただけるよう、各地域防災拠点運営委員長等を対象とした研修会等を実施</p> <p>(ア) 地域防災拠点運営委員会連絡協議会の開催(5月26日・2月予定)</p> <p>(イ) 地域防災拠点運営委員会初任委員長研修の開催(6月27日)</p> <p>イ 地域防災拠点訓練メニューの多様化や参加者の増加を図る取組を支援するほか、資機材等を整備</p> <p>(ア) 広報よこはまで地域防災拠点運営訓練を紹介</p> <p>(イ) 「みんなで作る避難所」をテーマにワークショップを開催(下期に2回予定)</p>	<p>総務課</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>(ウ) 要援護者と連携した地域防災拠点運営訓練の推進 (エ) 避難所における動きをゲーム感覚で体験できる避難所運営ゲーム(HUG)及び体育館・学校見取り図をセットにして全ての地域防災拠点に配付【新規】 (オ) 地域防災拠点に配備されている資機材の点検・修繕 (カ) 地域防災拠点備品の充実 (5) 災害時における通信手段の増強 連絡体制を強化するため災害時優先携帯電話を 10 台追加配備 (6) 防災講演会の開催 区民の防災・減災意識の向上のため防災講演会を開催【拡充】 (7) 防災ライセンスリーダーのスキルアップと地域防災拠点との連携強化 ア 港南区防災ライセンスリーダーを対象に技能・知識の向上のため、「フォローアップ講習」を実施(6月19日港南中学校、7月2日小坪小学校) イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会(5月26日 2月)やライセンスリーダー連絡会班長会(11月予定)等により、互いの情報共有や協力体制を確保 (8) 事業者との横断的な防災・減災の取組を推進 区防災対策連絡協議会を集合形式で開催し、区内の関係機関等との横断的な取組を推進(6月23日港南公会堂)</p> <p>2 災害対策本部機能強化 【1,650千円】 (1) 訓練や設備更新等による災害対応力の強化 ア 地震発生後の区内の被害を想定した区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部各班での活動及び連携を強化(9月予定 1月予定) イ <u>風水害時における対応強化に向けた避難場所開設訓練を実施(6月6日 港南地区センター)</u> ウ 風水害避難場所の開設・運営用品の充実 エ 避難指示対象世帯数等を正確に把握し、区民への迅速かつ適切な情報提供等につなげるため、避難指示対象区域のGIS(地理情報システム)用のデータを新たに作成 (2) 情報発信の強化 ア メールやSNSなど多様な手段による情報発信 イ 電話の自動音声により避難指示や避難場所の開設・混雑情報等を確認できる緊急時情報伝達システムの区民への周知(広報よこはま6月号) ウ <u>即時避難指示対象世帯(37世帯)に対するポスティングによる緊急時情報伝達システムへの事前登録の勧奨(5月)</u></p> <p>3 感染症対策 【400千円】 (1) 避難場所内における感染症対策 地域防災拠点における感染症対策として配付した備蓄品(マスク・消毒剤等)の更新 (2) 災害発生時に備えた感染症拡大防止の啓発 避難時におけるマスク着用及び手洗いなど一人一人の感染症対策の必要性について啓発</p>	<p>会場開催＋オンライン配信</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>2 災害時も地域で見守り推進事業</p> <p>R4 予算額：1,500 R3 予算額：2,028 増△減：△528</p>	<p>いざという時に、地域の見守りや支えあいの中で、要援護者への支援が円滑に行われるよう「日頃の見守り・支えあい」の重要性を地域に発信し、「自助・共助」の力を高めるとともに、各地域の取組を支援</p> <p>災害時要援護者支援に取り組む地域と協定を締結し名簿の提供を行うほか、次の事業を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域防災拠点ワークショップの実施 「みんなで作る避難所づくり」をテーマにワークショップを開催（2回予定） 2 パンフレット等を活用し、災害時の要援護者支援や「日頃の見守り・支えあい」の重要性を地域に発信 3 要援護者の訓練参加促進や地域防災拠点と連携した福祉避難所の開設訓練を実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 要援護者の訓練参加促進や福祉避難所と連携した要援護者受入訓練等に取り組む拠点・施設の拡充を呼びかけ (2) 地域防災拠点運営委員会連絡協議会の開催（5月26日 2月予定） (3) 要援護者（障害者）も参加できる防災イベントの実施 	<p>福祉保健課 総務課 高齢・障害支援課 健康福祉局区配付事業にて実施</p> <p>再掲1 災害に強いまちづくり事業-1(4)</p> <p>再掲1 災害に強いまちづくり事業-1(4)</p>
<p>3 安全で快適な生活推進事業</p> <p>R4 予算額：1,099 R3 予算額：1,300 増△減：△201</p>	<p>区民が安全で快適な生活を送れるよう、生活環境に起因する課題（食の安全・動物の適正飼育・ハチ対策等）の解決に向けた支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 食の安全推進 【424千円】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 大規模食中毒を防止するため、立入調査や講習会、文書の郵送などの衛生支援を実施 <ol style="list-style-type: none"> ア ノロウイルス等による食中毒や感染症を防止するため、社会福祉施設等を対象に、福祉保健課と協力して衛生支援を実施（9月～令和5年2月予定 150施設予定） イ 小学校給食施設の一斉点検を実施（6月～7月 22校予定） (2) 消費者や事業者等への効果的な情報提供 <ol style="list-style-type: none"> ア 区民や事業者を対象に、食品衛生に関する啓発を実施 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 食中毒予防キャンペーン（11月実施予定） (イ) 動画やパネル等を活用した情報提供【新規】 （動画 5月 窓口公開開始） （パネル展 9月 1月 区民ホール予定） (ウ) テイクアウトやデリバリーで食品を提供する事業者への相談対応等、衛生支援（通年 100件 予定） イ 地域への食中毒予防支援 <ol style="list-style-type: none"> (ア) 地域の行事で食品を提供する際の衛生支援（通年） (イ) 高齢者向けの会食・配食サービスや子ども食堂等の衛生状況に応じた効果的な衛生教育を実施 (ウ) 食品衛生に関する出前講習会を実施（通年） 	<p>生活衛生課</p> <p>動画配信</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>(1) 総会（5月19日） (2) キャンペーン（7月 12月予定） (3) 安全安心まちづくり旬間出発式（10月予定） (4) 年末年始特別警戒出陣式（12月予定） (5) 港南区安全安心まちづくり表彰式（令和5年3月予定）</p> <p>2 地域防犯活動の推進 【4,742千円】</p> <p>(1) 自主的な防犯活動支援 ア 地域の防犯活動団体に対して、活動費用の一部を助成することで、地域の自主的な防犯活動が継続的かつ効果的に行えるよう支援 イ 地域の防犯活動団体と港南警察署・区役所との合同パトロールを実施（10月～12月予定）</p> <p>(2) 子どもの見守り安全対策</p> <p>ア 防犯寺子屋(出前防犯講習)（5月～12月予定） 地域で防犯活動に取り組む団体が、区内小学校で各学年に応じた誘拐防止、万引き防止等の講習を実施（20校、計50回予定）1年生は20校で実施予定</p> <p>イ 地域子どもの安全対策協議会の実施（6月～7月予定） 区内小学校（21校）に設置されている「地域子どもの安全対策協議会」に事業補助金を交付 （ア）地域子どもの安全対策協議会 危険箇所改善要望方法説明及び補助金交付説明会を実施（4月26日） （イ）協議会において、地域と行政、関係機関が、現場の問題点や改善の方向を共有し、課題解決に向けた話し合いを実施</p> <p>ウ 港南ひまわり83（ハチサン）運動 登下校の時間（午前8時・午後3時）に合わせた見守り運動の推進 イベント等での啓発（通年）</p> <p>3 交通安全対策 【1,727千円】</p> <p>(1) 高齢者の交通安全対策 高齢者の交通事故が増加する中、研修会や参加・体験型の「ドライビングスクール」を実施し、高齢者が自分の身を守るだけでなく、地域で「事故を起こさない」「事故を起こさせない」交通安全の担い手となれるよう、交通安全シルバーリーダー連絡会の活動を支援 ア 港南区交通安全シルバーリーダー連絡会総会（5月31日） イ シルバードライビングスクール（9月22日 京急上大岡自動車学校） ウ シルバーリーダー養成研修会（11月予定） エ 高齢者交通安全教室（10月26日 京急上大岡自動車学校） オ 区研修会（令和5年2月3日）</p>	<p>自主防犯活動団体への補助</p> <p>各小学校地域子どもの安全対策協議会への補助</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	(2) スクールゾーン対策 「スクールゾーン」の路面標示や電柱巻標識の設置、 老朽化した通学路標識の撤去など、児童の交通安全対策を 進めるとともに、港南警察及び港南交通安全協会が実施す る「はまっ子交通安全教室」に協力	

2 見守り・支えあいのまちづくり

【20,148 千円】

向こう三軒両隣に「お互い様」の関係ができ、いざというときにも助け合えるよう、様々な担い手による見守り・支えあいの輪が広がるような取組を進めます。

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>5 地域福祉保健活動 推進事業</p> <p>R4 予算額：3,444</p> <p>R3 予算額：4,744</p> <p>増△減：△1,300</p>	<p>誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、「<u>第4期港南ひまわりプラン</u>」に基づき区民・活動団体・行政等が協力して「<u>見守り・支えあい</u>」の取組を進め、一人ひとりが地域の中でつながり、いつまでも生き生きと暮らせる地域づくりを推進</p> <p>1 港南ひまわりプランの推進 【3,034 千円】</p> <p>港南ひまわりプランに掲げた目標や取組を踏まえた活動を支援・推進</p> <p>(1) 認知度向上のための広報 <u>プランの認知度向上を図り、地域における見守り・支えあいの取組を浸透させていくため、動画の配信や啓発物品を配布【新規】</u></p> <p>(2) 区計画の推進</p> <p>ア 港南区地域福祉保健推進協議会 (6月16日 11月17日 2月16日) プランの進捗状況や区福祉保健施策について協議・意見交換を実施する場</p> <p>イ シャベッ Ciao♪ (1回予定) プランの推進に向けて区民による意見交換会を実施</p> <p>(3) 地区別計画の推進 地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、区役所が「地域支援チーム」を組み、地区別計画の推進を支援 地域支援チームオリエンテーションの実施 (5月9日)</p> <p>(4) 見守り・支えあいの推進 「見守り協力事業者」によるあいさつや声掛けを通じたゆるやかな見守りが広がるよう、事業者向け通信を発行し意識啓発を実施 (9月、3月予定) また、地域ケアプラザの取組である「ひまわりホルダー」の普及・啓発を支援</p> <p>(5) 活動団体への補助</p> <p>ア 区計画の内容に沿った活動への補助 (港南ひまわりプラン応援補助金)</p> <p>イ ボランティア団体の活動紹介や交流を行う「ボランティアフェスティバル」の開催経費の一部を補助 (11月予定)</p> <p>ウ 障害者相互間や健常者との交流を深める「障害者ふれあいスポーツ交流会」の開催経費の一部を補助 (10月予定)</p> <p>2 地域ケアプラザ運営推進費 【200 千円】 地域ケアプラザの円滑な運営の支援</p>	<p>福祉保健課</p> <p>活動団体等への補助</p> <p>区社会福祉協議会への補助</p> <p>区障害者団体連絡会への補助</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>3 災害医療対策費 【210千円】 区内の医療関係団体や災害拠点病院等との意見交換・情報共有を行うとともに、災害医療の訓練を実施 (1) 災害医療連絡会議（6月29日 12月予定） (2) 災害医療合同訓練（10月15日） (3) 災害拠点病院等との情報受伝達訓練（5回予定）</p>	
<p>6 障害者いきいき生活応援事業 R4 予算額：1,530 R3 予算額：1,530 増△減： 0</p>	<p>障害児者とその家族が地域で安心して生活できるよう、障害理解のための普及啓発、区内障害者施設の活動促進等を通して、地域のつながりづくりを支援</p> <p>1 障害児・者への支援 【1,330千円】 (1) 障害に対する正しい知識の普及と理解の促進 ア 精神障害に関する出前講座（6回予定） イ ポスターやクリアファイル等による啓発 (2) 知的障害者が仲間づくりや社会参加を広げるための事業（青年学級事業）に助成 毎月第1・3水曜日、第2・3土曜日予定 (3) 障害児者及びその家族と、地域（地域ケアプラザ、民生委員、ボランティア等）とのつながりづくりを目的とした事業（地域交流支援事業）に助成 (4) 障害者スポーツを通じた障害理解の促進 ア 誰もが一緒に楽しめるスポーツ（ボッチャ）のミニ大会等の開催を通じた障害者と地域との交流促進【新規】 イ ラポール上大岡と連携した障害者スポーツによる交流支援 (5) 区内の支援機関等で組織する自立支援協議会（区は事務局の一つ）として、各部会（啓発部会、グループホーム部会等）や全体研修会などの活動を通じて、障害のある方が地域で安心して生活できるまちづくりを推進 (6) 「障害者版ひまわりホルダー」の普及等の支援 区内障害者事業所の取組「障害者版ひまわりホルダー」の普及等支援（令和4年4月末現在登録件数164人）（13障害者事業所）</p> <p>2 障害者施設（支援機関）への支援 【200千円】 <u>(1) 障害者施設における自主製品の販売支援</u> 障害のある方による手工芸品やパン・お菓子等の販売会（区役所や民間商業施設等）を通して、地域社会への参加意識や働きがいを感じる機会を提供 ア こうなん来夢区役所 展示販売会（通年） イ 区内商業施設（港南台バース等）販売会 ウ 移動販売に参加（笹下台マルシェ、南台町内会さわやか広場） エ 販売促進のための広報活動支援（地域密着型アプリ「ピアッザ」、区HP、広報よこはま連載等） <u>(2) 事業所紹介動画の制作と配信【新規】</u> <u>事業所の紹介動画配信による事業所のPR(8事業所予定)</u></p>	<p>高齢・障害支援課</p> <p>たまり場「ちょいとさわやか」実行委員会への補助</p> <p>港南区社会福祉協議会への補助</p> <p>こうなん来夢運営委員会への補助</p> <p>オンライン配信</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>7 地域カステップアップ事業</p> <p>【重点】</p> <p>R4 予算額：8,614</p> <p>R3 予算額：6,939</p> <p>増△減：1,675</p>	<p>「地域とのつながりづくり」や「いざという時の助け合い」など、自治会町内会の様々な活動がより円滑に進むよう、必要な情報を提供</p> <p>日頃の地域活動への感謝を表すために会長・役員表彰などを実施</p> <p>新しい生活様式下でも、自治会町内会活動が継続していけるようにICT活用に向けた事業を実施</p> <p>商店街活性化のために、商店街が開催するイベントの広報などによって、商店街と地域の接点が増えるよう支援</p> <p>1 自治会町内会運営のサポート 【160千円】</p> <p>(1) 新任自治会町内会長・役員の方対象の講習会の開催 新任の自治会町内会長及び役員の方を対象に、ごみや道路、公園、防犯、防災などの地域生活に密着した問題や不安の解消に役立つ講習会を開催 現役の自治会長を招き、地域活動におけるアドバイスや新任会長の不安を聞くなど、参加者同士の意見交換を実施（6月4日 区役所）</p> <p>(2) 補助金説明会、個別相談会の開催 仕事等で平日に区役所に来られない会長・役員の方を対象に、休庁日に補助金に関する説明会・個別相談会を開催（5月14日 区役所）</p> <p>(3) 自治会町内会区域図更新 各自治会町内会が災害対応や加入促進に使用できる区域図について、変更箇所を調査し、更新発行</p> <p>2 自治会町内会のICT活用支援 【3,350千円】</p> <p>(1) ICTの活用検討支援 連合町内会、単位町内会で継続してICTを活用していけるよう、LINEを使った情報共有の行い方などを広めていく事業の実施 自治会町内会向けのLINE活用動画を作成し、ホームページで公開（5月19日から）</p> <p>(2) 機器導入等にかかる支援 連合町内会、単位町内会の新しい生活様式を取り入れた連携手法（ICT）の導入等にかかる補助金を交付【拡充】（募集期間6月1日～7月29日）</p> <p>3 自治会町内会役員表彰及び会長感謝会の開催（区長表彰） 【1,574千円】 自治会町内会役員の方々の、長年にわたる地域活動に対する表彰と、自治会町内会長の方々の日頃の活動に対して感謝の意を表す感謝会を同時開催（令和5年3月上旬予定）</p>	<p>地域振興課</p> <p>地域力推進担当</p> <p>連合町内会・自治会町内会への補助</p> <p>地域振興課</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>4 広報物等の仕分運搬 【561千円】 行政から自治会町内会へ配布されるチラシ・ポスター等を一括して届けることで、配布時期を統一し、自治会町内会の負担を軽減</p> <p>5 商店街振興 【850千円】 (1) 区の花ひまわりを活用した商店街振興 「ひまわり」を題材にした小学生絵画コンクールを、港南区商店街連合会と共催で開催 商店街や駅などに作品を展示し、多くの区民が商店街を訪れる機会を創出 表彰式(11月5日) (2) 商店街イベントの広報支援 商店街の活性化を目的に開催される各種商店街イベントについて、情報誌への掲載等を通して広報面から支援 (3) 商店街と連携した港南ひまわり83運動の推進 登下校時の小学生の見守り活動を推進する港南ひまわり83運動を、商店街と連携して行うことで、地域との接点を増やし活性化につながるよう推進</p> <p>6 協働による地域づくりを進める取組 【1,144千円】 (1) 協働による地域づくり推進協議会の開催及び事例見学等の実施 区内で地域活動を行う様々な団体の代表者がそれぞれの活動や課題について、意見や情報を交換する場の開催及び、地域・事業者・行政の協働事例の見学等を実施 (4回 7月 9月 12月 令和5年2月予定) (2) 元気な地域づくりフォーラムの開催 区全体で協働による地域づくりを進めるため、各地区の取組や情報、次年度の協働による地域づくりの取組の方向性を共有するイベントを開催(令和5年3月11日) (3) 港南区協働による地域づくりのあゆみ(仮)の発行 地域づくり大学校「学び舎ひまわり」が10周年を迎え、「港南区協働による地域づくり」の取組・経緯をまとめたものを発行【新規】</p> <p>7 地域の課題解決にかかる取組 【720千円】 地域課題の解決等のための、地域一体となった取組を支援</p> <p>8 地域の人材育成にかかる取組 【255千円】 定年退職後の方を対象に、地域活動を始めるきっかけとなる講座を区社会福祉協議会、地域ケアプラザと連携し開催(5回開催予定)</p>	<p>地域力推進担当</p> <p>会場開催+オンライン配信</p> <p>連合町内会・地区社会福祉協議会への補助</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>8 青少年みらい応援事業</p> <p>R4 予算額：6,560 R3 予算額：6,010 増△減： 550</p>	<p>子どもたちが地域で健やかに成長できるよう、地域で活動する団体等を支援するとともに、子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう応援する事業を実施</p> <p>1 港南区地域で育て子どもたち事業 【750 千円】 子どもたちが地域に愛着を持ち、健やかに成長するための事業への補助。(通年 15 地区)</p> <p>2 港南区青少年活動事業 【420 千円】 港南区子ども会連絡協議会、港南台中央公園生き生きプレイパーク管理運営委員会が実施する事業への補助。(通年 5 事業)</p> <p><u>3 子どもゆめ応援講演会 【760 千円】</u> <u>子どもたちが夢や目標を持ち、それに向かって努力することの大切さを伝え、将来について考えるきっかけとなるような講演会を開催(令和5年2月予定、港南公会堂)【拡充】</u></p> <p>4 港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰 【270 千円】 部活動などの文化・スポーツ活動において、優秀な成績をおさめた区内の児童・生徒を表彰(通年)</p> <p>5 ひまわりミュージックフェスタ 【610 千円】 子どもたちが夢と希望を持ち、仲間との交流を通して互いに認め合う心を育むことを目的として、港南区内の小中学生に演奏・合唱の発表会の場を提供(令和5年1月21日 港南公会堂)</p> <p><u>6 こうなん子どもゆめワールド 【3,200 千円】</u> <u>こうなん子どもゆめワールドの開催を支援し、次代を担う子どもたちが夢と希望を持ち、主体性と創造性を持ちながら活動できるよう、地域における異世代・国際交流の場を提供(11月5日、港南ふれあい公園ほか予定)【拡充】</u></p> <p>7 ひまわりフェスタ 【550 千円】 「ひまわりフェスタ」として、周辺施設でイベントを同時期開催(11月予定 港南中央駅周辺施設等)</p>	<p>地域振興課</p> <p>港南区地区連合町内会への補助</p> <p>港南区子ども会連絡協議会、港南台中央公園生き生きプレイパーク管理運営委員会への補助</p> <p>会場開催＋オンライン配信</p> <p>こうなん子どもゆめワールド 実行委員会への補助</p> <p>会場開催＋オンライン配信</p>

3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり

【22,305 千円】

「健康アクションこうなん5」の実践を呼びかけ、誰もが健やかに、健康寿命を延ばす取組を進めます。

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>9 健康アクションこうなん5推進事業</p> <p>【重点】 R4 予算額：7,767 R3 予算額：7,743 増△減： 24</p> <p>《健康アクションこうなん5》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あるこう！毎日 ・たべよう！野菜 ・まもろう！歯 ・なくそう！たばこの煙 ・やすもう！しっかり <p>*そして…受けよう！ がん検診と健康診断</p>	<p>「健康アクションこうなん5」の取組を進め、生活習慣病の予防につなげるために、地域や企業へ出向き、運動習慣や食生活の改善などの啓発を実施</p> <p>働き・子育て世代に対しては、「健康経営」(※)の取組に加え、がん対策も推進</p> <p>(※)従業員の健康増進を、人的な資本に対する投資として捉える考え方</p> <p>1 「あるこう！毎日」推進事業 【1,994 千円】 ウォーキングマップやウォーキングポイント事業を活用し、運動習慣を啓発</p> <p>(1)区民利用施設や区内クリニック等へウォーキングマップを配架(生活習慣病予防対策)</p> <p>(2)区内の各団体の企画するウォーキングイベント開催時の支援</p> <p>(3)区内のウォーキングイベントの紹介(目的に合わせて区民の方が選択できるよう一覧にまとめ配架)</p> <p>2 「たべよう野菜！」推進事業 【753 千円】</p> <p>(1)中学生の食育講座 朝食を抜きがちな中学生を対象に、正しい食習慣の啓発を実施(4~5校実施予定)</p> <p>(2)野菜たっぷりパン及び弁当の企画・販売 区内障害者施設で企画したパン及び弁当作りを通じて、障害者自身も含め、野菜を摂ることの大切さを考える機会を提供(10月中実施予定)</p> <p>(3)離乳食スタートごっくん教室 4か月健診受診時に離乳食の進め方についてフードモデル等を使い啓発(毎月2回実施予定)</p> <p>3 「まもろう！歯」推進事業 【688 千円】</p> <p>(1)仲よしブラッシング 子の歯の健康教室として1歳2か月以下の子どもとその保護者を対象に、健康に過ごすための基礎となる口腔ケアの支援講座を実施(毎月1回実施予定)</p> <p>(2)オーラルフレイル(お口の機能の低下)予防・啓発事業</p> <p>【拡充】 関係機関や活動団体に啓発媒体を提供し、具体的オーラルフレイル予防を推進 健口体操のリーフレットと動画を活用し啓発</p> <p>4 「がん対策と健康診断」推進事業 【1,079 千円】</p> <p>(1)がん検診や特定健診の受診率向上のため、港南区医師会と連携し、受診勧奨のリーフレットを配布 ア 特定健診、がん検診を実施している区内85医療機関</p>	<p>福祉保健課 地域振興課 区政推進課 高齢・障害支援課</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>で配布予定 イ その他健康経営認証事業所での活用も検討予定 (2) 喫煙対策として全小学6年生向けに副教材を各小学校へ配布し、喫煙防止教育を促進 (3) 働き・子育て世代の方に、区役所の肺がん検診を気軽に受けてもらえるように、インターネットによる申込受付や一時保育の取組を実施 ア 肺がん検診全6回のうち5回分は、広報の工夫や二次元コードを活用した一時保育付き先行予約を実施予定 イ 親子向けイベントチラシに、肺がん検診のご案内を載せ区内全小学校へ配布の他、乳がんクーポン券や就学時健診のご案内にも同封予定</p> <p>5 「やすもう！しっかり」推進事業 【24千円】 ストレスで交感神経が刺激され、興奮状態になると神経作用で唾液アミラーゼが分泌されるため、ストレスチェッカー(※)を活用し、出前講座等でこころの健康について周知予定 (※) 唾液でアミラーゼ量を測定し、ストレスの度合いを測定する機械</p> <p>6 働き・子育て世代の健康づくり 【1,919千円】 (1) 区役所と関係が薄くアプローチができていなかった働き世代への健康づくりを進めるため、区内企業の健康経営の取組を推進 ア 健康経営の進め方を分かりやすくまとめた冊子「はじめの一步」を活用し、6月からの横浜健康経営認証制度の応募開始に合わせて勧奨を実施 イ 健康経営認証事業所同士が情報共有・交流できる場の提供 (2) 4か月児健診時に、妊娠中の健診で妊娠糖尿病と診断された方に対し、糖尿病予防のために正しい知識の普及と相談を実施(毎月2回予定)</p> <p>7 出前講座・健康相談 【1,310千円】 (1) 地域や企業へ出向いて、保健活動推進員などの関係団体や区の様々な事業と連携し、幅広い世代に対して健康づくりの啓発を実施予定 (2) 保健師・栄養士・歯科衛生士による個別相談及び指導 (3) ベジメータ(※)を活用した食生活の改善支援【拡充】 (※) 野菜摂取量を簡単に数値として見える化できる装置 ア 乳幼児健診来所の親子に対し測定し、野菜摂取について啓発 イ 出前講座や健康相談時等に活用 食育月間イベント(ベジメータ測定やヘルスマイトによる野菜に関するクイズなど)を区役所区民ホールにて実施(6月2日)</p>	

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>10 地域で子育て応援事業</p> <p>R4 予算額：6,765 R3 予算額：7,219 増△減：△454</p>	<p>安心して子育てができるよう、子育ての居場所機能の充実、（養育者が）育てにくさを感じる子育てについての相談・啓発事業、地域の0歳児赤ちゃん教室、保育園等と連携した事業（絵本の貸出等）、DVや虐待等困難な問題を抱える家庭の支援を実施</p> <p>1 エリア別子育て支援事業 【3,438 千円】</p> <p>(1) 「こうなん子育て応援ガイドブック ひまわりまっぷ」 こんにちは赤ちゃん訪問時や、区内小児科等にて配布（4,700部）</p> <p>(2) 地域の子育て資源活用事業</p> <p>ア 子育ての居場所の運営 週3回 午前10時から午前12時まで開設予定 設置場所：市立野庭第二保育園 ※月2回（第2、第4金曜日）、港南図書館でのアウトリーチ型居場所事業を実施【新規】</p> <p>イ 港南区南部エリア子育て支援事業 子育て支援に関わっている地域住民を中心に、情報を共有する場、七夕まつり(7月5日 港南台バース)、支援者のスキルアップを図るための研修会（2月、年1回予定）などを開催</p> <p>2 育てにくさを感じる子育て支援事業 【776 千円】</p> <p>(1) 園庭開放見守りの充実 センター園を除く市立保育園（上大岡東保育園）</p> <p>(2) 人材育成の強化 コロナ感染予防のため、対面での健康教育が難しくなっていることを踏まえ、身近な支援者のスキルアップのための支援者向け講座等の実施（10月以降、年4回予定）</p> <p>(3) 情報発信の強化 保健師と保育士、栄養士、歯科衛生士等が連携し、子育てのちょっとした悩み事に対する子育てQAや育児支援コラム等を、ホームページ等で発信（奇数月更新予定）</p> <p>3 こども家庭相談事業 【480 千円】</p> <p>(1) DVや離婚、親権や養育費等について、弁護士による専門相談を実施（月1回、通年実施）</p> <p>(2) 対応困難ケースへの支援強化に向けた事例検討を実施（年4回予定）【新規】 思春期保健・虐待対応の手法等の研修、事例検討等を7月21日・10月・1月・3月に実施予定</p> <p>4 0歳児赤ちゃん教室事業 【1,334 千円】 区内14会場（町内会等）にて、子育てに関する健康教育、情報交換、保健師等による子育て相談を、地域の関係団体等の協力を得て実施（1歳未満の第1子対象、概ね月1回）</p>	<p>こども家庭支援課</p> <p>会場開催+オンライン配信</p> <p>動画配信</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>5 保育魅力アップ事業 【737千円】</p> <p>(1) 絵本貸出 地域の親子の来園機会を増やすことにより、子育て支援の充実を図るため、公立園で地域の親子等への絵本の貸出事業を実施</p> <p>(2) 公立園保育士による地域育児支援 地域ケアプラザ等と連携した育児支援事業により、地域での育児支援を実施（年16回予定）</p> <p>(3) 地域の育児支援用看板更新 区内保育・教育施設において、地域向けの育児支援事業を啓発するための看板の更新</p>	会場開催+オンライン配信
<p>11 「切れ目のない」子育て支援事業</p> <p>R4 予算額： 904 R3 予算額： 1,123 増△減： △219</p>	<p>乳幼児期から学齢期までの子どもをもつ保護者が、安心して仕事と子育ての両立ができるよう、保育園・幼稚園や放課後の居場所（預け先）に関する情報提供、相談機会の充実等の支援を実施</p> <p>1 保育所一覧及び幼稚園一覧の配付 【320千円】 待機児童対策として、多様な保育・教育施設の情報をわかりやすく区民に提供（幼稚園一覧1,000部、保育所一覧6,000部）（10月予定）</p> <p>2 小学校就学時健康診断会場における放課後の居場所相談の実施 【284千円】 小学校で実施する就学時健康診断の会場において、保護者が放課後の居場所について相談できるよう、放課後キッズクラブや放課後児童クラブのスタッフによる放課後の居場所相談を実施（10月～12月予定 区内全小学校21校）</p> <p>3 「港南区放課後まっぴ」の発行、配布 【270千円】 放課後の居場所に関する情報をより多くの方が適切な時期に得られるよう、「港南区放課後まっぴ」を発行、配布（5,000部）小学校就学時健康診断会場、区役所窓口、区内保育所等にて配布（4月～配布予定）</p> <p>4 放課後施設利用の子どもに向けた防災の取組【30千円】 子どもや保護者の防災意識向上促進のため、放課後キッズクラブや放課後児童クラブにおいて、港南区防災ガイド等を活用した避難訓練を実施（10月～令和5年3月予定）</p>	こども家庭支援課

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>12 高齢者元気応援事業</p> <p>R4 予算額：1,669 R3 予算額：1,989 増△減：△320</p>	<p>地域の関係団体や福祉・介護・医療に携わる多職種との連携を深め、認知症や在宅医療の普及啓発を行い、高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを支援</p> <p>1 認知症高齢者の理解と見守り強化 【739千円】 幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、世界アルツハイマーデー（9月）に合わせ、港南区内を運行するバスに車内広告を掲載</p> <p>2 在宅医療と介護の連携支援 【630千円】 （1）医療・介護の多職種が参加する医福ネットの支援研修（7月、10月、令和5年3月） （2）エンディングノートの普及啓発 自分らしく最期まで安心して生活するツール「エンディングノート」の普及啓発を図るため、映画上映会と書き方講座を実施（10月29日 港南公会堂） 各地域ケアプラザにおいても、書き方講座を実施</p> <p>3 生活支援体制整備事業 【300千円】 （1）まちの給水所の支援 熱中症予防を通じた地域交流を促進するため、施設等において飲料水等を提供する「まちの給水所」の協力団体に対して、給水ポット等を貸与 （2）まちの縁側の支援 移動販売やまちの給水所等の人が集う場所にベンチを配置し、屋外での日常的な集い・交流の場を支援</p>	<p>高齢・障害支援課</p>
<p>13 地域スポーツ応援事業</p> <p>R4 予算額：2,650 R3 予算額：2,150 増△減：500</p>	<p>誰もが気軽に楽しめるスポーツの普及とともに、身近な地域で多世代が楽しめる様々なスポーツ活動を支援し、地域における健康づくりや仲間づくりを推進</p> <p>1 第44回港南区健康ランニング大会 【2,000千円】 健康・体力づくりや地域交流の場として、広く区民に親しまれている1,000人規模の大会を支援(令和5年1月8日)</p> <p>2 港南区内スポーツ事業への支援 【300千円】 地域におけるスポーツ活動を活性化させるため、スポーツ推進委員が行う区内スポーツ事業を支援 （1）区民が気軽に楽しむことができる港南区発祥のフাজーバレーボールをより一層普及するため、250人規模の大会の開催を支援（10月23日 港南スポーツセンター） （2）誰もが気軽に行え、健康づくりにつながる「ラジオ体操」を区内でスポーツ推進委員と連携し普及 ア ラジオ体操出張講座実施 イ ラジオ体操講習会への参加促進</p> <p>3 港南区スポーツ協会への支援 【350千円】 区内における多様なスポーツ活動をより一層推進するた</p>	<p>地域振興課</p> <p>港南区健康ランニング大会実行委員会への補助</p> <p>港南区スポーツ推進委員連絡協議会への補助</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	め、港南区スポーツ協会の各種活動（15 種目）を支援 (1) スポーツ普及事業への支援 ア 港南区少年野球大会（7月16日～31日） イ スポーツエンジョイフェスティバル（10月22日） (2) スポーツイベント情報紙「レスポールこうなん」の発行 （年1回）や研修の実施	港南区スポーツ協会への補助
14 地域文化推進事業 R4 予算額：620 R3 予算額：720 増△減：△100	身近な地域で文化に触れる機会を広く区民に提供している 様々な活動を支援し、地域におけるつながりづくりを推進 1 文化交流協会支援事業 【500千円】 こうなん文化交流協会の活動を支援 (1) 港南区区民文化祭の開催（11月3日 港南公会堂） (2) 各部会（※）によるイベント・教室を開催予定 ※音楽、美術、華道、茶道、民謡舞踊、吟剣詩舞、 ダンス、文芸の8部会 2 港南区アートショーケース管理運営事業 【0円】 市営地下鉄港南中央駅に設置された「港南区アートショー ケース」を管理運営委員会を支援する形で運営（通年） 3 文化行事支援事業 【120千円】 区内で開催される公益的文化行事等の支援	地域振興課 こうなん文化交 流協会への補助
15 区民活動・生涯 学習支援事業 R4 予算額：1,930 R3 予算額：1,630 増△減：300	区民が地域でいきいきと暮らせるよう、「区民活動」や「生 涯学習」を支援 1 講座の開催等 【790千円】 (1) 区民企画運営講座の支援 区民が地域でいきいきと暮らせるよう、自主的な企画・ 運営講座の開催を支援（8講座開催予定） (2) 港南区民企画運営講座交流会 区民企画運営講座運営委員や区民活動・生涯学習の活動 団体等を対象に、講座運営に活かすスキルアップを図るた めの交流会を開催 ア 交流会（5月24日 10月25日 令和5年2月 24日） (3) 人材養成講座 何かを始めたいと思う人が、地域に一步踏み出すきっか けとなる講座やボランティア人材を育成するための講座 を開催 2 施設間連携事業 【890千円】 (1) ネットワーク事業 区民活動支援センターと協働で区民活動・生涯学習団体 が相互に活動紹介や交流を図る事業や、区民利用施設間 で、情報交換や連携を深めるための事業を実施 (2) 区民利用施設への書類配送 区民利用施設への情報提供や施設間の情報交換のため の書類配送業務を実施（通年）	地域振興課

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>3 読書活動推進事業 【250千円】 <u>「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、港南図書館と協働し、読書に親しむ事業を実施【新規】</u> (1) 読書活動推進連絡会（7月6日） (2) 読書ノートの改訂 読んだ本の記録ができる「読書ノート」を改訂し、区民利用施設・学校と連携し広く配布（7月予定） <u>(3) わらべうたと絵本を親子で楽しもう！講座の開催</u> <u>区内エリア別3か所で幼児と保護者を対象に、専門講師による実践講座を開催（1コース3回 6月 11月 令和5年2月予定）</u> (4) 読書活動推進月間リーフレットの作成配布 11月の推進月間にあわせ、読書に関連する区内各施設のイベントを広く紹介（10月予定） (5) 読書活動推進講演会（11月予定） (6) 読書活動パネル展（11月14日～30日 港南区役所区民ホール）</p>	

4 住み続けたいまちづくり

【25,767千円】

地域の美化活動やごみの減量化、食品ロス削減、プラスチック対策、地球温暖化対策等の普及啓発を行います。また、歩行者の安全に配慮したまちづくりを進めるとともに、まちの魅力を発見・発信し、地域への愛着を高める取組を行います。

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
<p>16 うるおいのある美しい街づくり事業</p> <p>R4 予算額：4,162 R3 予算額：4,212 増△減：△50</p>	<p>区民、地域団体と関係行政機関が協働し、不法投棄や散乱ごみの無い、花と緑のある美しい街づくりを推進。また、地域の実情に応じて誰もが参加できる身近な地域活動としての清掃・美化活動を推進</p> <p>1 街のクリーンアップ事業 【2,782千円】</p> <p>(1) 港南台、上永谷駅周辺清掃</p> <p>ア 区内の障害者福祉施設に委託して歩道清掃を実施</p> <p>イ 地域や商店街を主体として立ち上がった「上永谷駅前美化協議会」と協働して、駅前清掃やポイ捨て禁止等の啓発を実施</p> <p>(2) 河川のクリーンアップ</p> <p>地域団体が主体的に行っている、河川の清掃活動を神奈川県治水事務所や土木事務所などと連携して支援。清掃活動で使用するごみ袋をバイオマスプラスチック製に全面変更し、プラスチック対策を合わせて実施</p> <p>ア 笹下川クリーンアップ(5月14日 9月予定)</p> <p>イ 平戸永谷川クリーンアップ(5月28日 10月予定)</p> <p>ウ 大岡川クリーンアップ笹下地区(6月25日)</p> <p>エ 大岡川クリーンアップ上大岡・大久保最戸地区(6月4日)</p> <p>オ 日野川クリーンアップ(7月23日)</p> <p>(3) ポイ捨て防止等の推進</p> <p>区内主要駅にて環境事業推進委員、資源循環局港南事務所とポイ捨て防止キャンペーンの実施(年3回予定)</p> <p>2 地域美化活動支援事業 【920千円】</p> <p>各地域で行われている美化活動を支援するため補助金を交付(15地区)</p> <p>3 フラワーサポーター支援事業 【460千円】</p> <p>公共性の高い場所で、花植えやその維持を行っているフラワーサポーター団体を支援する補助金を交付(9団体予定)</p>	<p>地域振興課</p> <p>地域美化活動推進組織への補助</p> <p>フラワーサポーター団体への補助</p>
<p>17 ヨコハマ3R夢！推進事業</p> <p>R4 予算額：1,303 R3 予算額：1,303 増△減：0</p>	<p><u>ごみ・資源の削減と脱温暖化を目指し、ヨコハマ3R夢プランに基づき、区民や事業者との協働により3Rを推進</u></p> <p>1 ヨコハマ3R夢推進組織の運営 【223千円】</p> <p>(1) 港南区地球温暖化対策・ヨコハマ3R夢推進本部総会</p> <p>区民、区内事業者、行政が取り組む令和4年度のごみ量削減などの行動目標を決定(5月19日)</p> <p>(2) ヨコハマ3R夢表彰式</p> <p>街の美化、3R夢プランの推進に貢献した区民・団体に対する感謝の意をあらわすため、表彰式を開催(令和5年3月16日 ※安全安心まちづくり協議会との合同開催予定)</p>	<p>地域振興課</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>2 ヨコハマ3R夢 普及・啓発 【1,080 千円】</p> <p>SDGsの視点を取り入れ、3R夢プランを推進するため、資源循環局港南事務所と連携して普及・啓発活動を展開</p> <p>(1) 地域イベント、商業施設店頭などでの啓発 区民が多数集まる場所でごみの分別相談や、3R夢プラン啓発のためのブースを設置 地域が主催するイベントや区内スーパー、百貨店などで分別の啓発を行うほか、他課と連携した普及・啓発も展開(通年)</p> <p>(2) 子ども向け3R夢学習 保育園や小・中学校での授業として、3R夢プランを始めとした環境学習を実施 ア 保育園や小・中学校での出前教室(通年) イ こうなん子どもゆめワールドで、小学生がごみの分別を啓発(11月5日)</p> <p>(3) 港南区3R夢動画コンテスト 小中学生を対象に3Rをテーマにした30秒以内の動画を募集しコンテストを開催 (募集期間7月22日～10月14日)</p> <p>(4) 食品ロス削減の啓発 ア 講演会の開催(10月 12月予定) イ 広報よこはま区版による啓発(9月 11月号予定)</p> <p>(5) プラスチック削減の啓発 ア 講演会の開催(9月予定) イ 広報よこはま区版による啓発(8月号予定)</p> <p>(6) リユース情報掲示板の運営 家庭で不要となった品物を区民間でリユース(再使用)するための情報掲示板を運営</p>	<p>会場開催+オンライン配信</p> <p>会場開催+オンライン配信</p>
<p>18 歩行者サポート事業</p> <p>R4 予算額：6,000</p> <p>R3 予算額：6,000</p> <p>増△減： 0</p>	<p>地域の要望を踏まえて公道の階段への手すりの設置や補修などを行い、日頃から高齢者等が安心して外出でき、災害時にも安全に通行できる環境を整備</p> <p>平成31年度～令和3年度までの期間で地域要望箇所の整備が完了(全17箇所)し、令和4年度は個別対応で実施</p> <p>令和4年度の手すり設置延長：約150m 予定</p> <p>※ 別途の道路局配付予算も含む</p>	<p>土木事務所</p>
<p>19 通学路カラー舗装化事業</p> <p>R4 予算額：5,500</p> <p>R3 予算額：5,500</p> <p>増△減： 0</p>	<p>歩道がない通学路での歩行スペースの確保や車両の速度を抑制させるため、路側帯のカラー舗装化による交通安全対策を実施</p> <p>各小学校で6月から7月の間に開催の「地域子どもの安全対策協議会」で要望のあった路側帯のカラー舗装化を、危険度や地域のバランス等も考慮し実施</p> <p>令和4年度の実施延長：約2,500m 予定 (新設 約1,800m 補修 約700m)</p> <p>※ 別途の道路局配付予算も含む</p> <p>1 地域子どもの安全対策協議会(6月～7月予定)</p> <p>2 実施箇所の選定、設計(8月～10月予定)</p> <p>3 工事(11月～令和5年3月予定)</p>	<p>土木事務所</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>4 地産地消の推進 【60千円】</p> <p>(1) 野菜直売会「ビタミン満菜市」の開催 夏季(7月13日～8月10日 計7回)及び秋季に港南公会堂前広場で、地元港南区産野菜の直売会「ビタミン満菜市」を開催 野菜摂取量を測定できるベジメータを活用したイベントも同時開催(7月22日 8月10日 計2回)</p> <p>(2) 食生活等改善推進委員会(ヘルスマイト)と協働した地産地消イベントの実施 食生活等改善推進委員会(ヘルスマイト)と連携し、地産地消と健康づくりに関するイベントを実施(11月予定)</p>	<p>区政推進課 福祉保健課</p>
<p>22 みんなでつくる ふるさと港南事業</p> <p>R4 予算額：1,780</p> <p>R3 予算額：1,210</p> <p>増△減： 570</p>	<p>港南区の魅力を発見・発信し地域への愛着やふるさと意識を高める取組を推進</p> <p>1 まちの魅力発信 【670千円】</p> <p>(1) 子どもによるまちの魅力発見 子どもたちが、地域への関心や愛着を高めることを目的に、地域のお気に入り(風景、建物、イベント、食等)を写真とコメントで募集(募集期間6月上旬～9月3日) 子どもならではのまちの魅力を区内外に広く発信するため、寄せられたスポットは区内施設等で展示し、区ウェブサイトにも掲載</p> <p>(2) 「港南区デジタル観光マップ」の活用【拡充】 区の魅力発信し、区への愛着を高めるため、「地産地消」や「子育て」に関するスポットを追加するとともに、マップを活用したイベントを開催(10月～12月予定)</p> <p>2 <u>ライフイベントに合わせた身近な区役所づくり</u> 【480千円】</p> <p>(1) <u>区オリジナルデザインの婚姻届受理証明書の発行【新規】</u> <u>婚姻をお祝いするとともに、港南区をいつまでも身近に感じていただくため、婚姻届を提出した記念となる区オリジナルデザインの婚姻届受理証明書を作成し、希望者に交付(有料)</u></p> <p>(2) <u>デジタルフォトフレームの作成【新規】</u> <u>港南区への愛着とふるさと意識を醸成するため、AR(拡張現実)による区オリジナルデザインのデジタルフォトフレームを作成し、婚姻届や出生届等の提出で来庁した区民が区庁舎内で記念撮影する際に活用</u></p> <p>3 区の花ひまわりの活用 【630千円】</p> <p>(1) こんにちは！港南baby誕生プレゼント 区内事業者との協働により、ひまわり柄のオリジナル・ミニタオルを区内の出生児にプレゼントする『こんにちは！港南baby誕生プレゼント』を実施(通年)</p>	<p>区政推進課</p> <p>区政推進課 戸籍課</p> <p>区政推進課</p>

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
	<p>(2) 区内公有地でのひまわり栽培【新規】 土木事務所と連携して、上永谷駅前の公有地を活用し、地域の小学生や自治会、商店街の方々によりひまわりを栽培することで、区の花ひまわりに親しめるスポットを創出（6月28日植樹）</p>	<p>区政推進課 土木事務所</p>
<p>23 ひまわり交流事業</p> <p>R4 予算額：732 R3 予算額：732 増△減： 0</p>	<p>青少年の健全育成やふるさと意識の醸成、地域の活性化を図るため、宮城県大崎市との相互交流を行っている「ひまわり交流協会」及びその活動を支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相互のシンボルであるひまわりの普及 区民、自治会町内会、保育園・学校等にひまわりの種を配布（4月～5月） 2 ひまわり生活体験交流の実施 夏休みの3日間、港南区と大崎市の児童（小学4～6年）が毎年交互に相手都市を訪問、令和4年度は、港南区の児童が大崎市を訪問（8月3～5日） 3 相互交流の促進 大崎市と港南区の交流をPRするため、大崎市三本木ひまわり交流協会と協力して「こうなん子どもゆめワールド」でブースを出店（11月5日） また、区役所区民ホールで交流をPRするパネル展を実施（12月予定） 	<p>地域振興課</p> <p>港南区ひまわり交流協会への補助</p>

5 正確・丁寧な行政サービスの提供

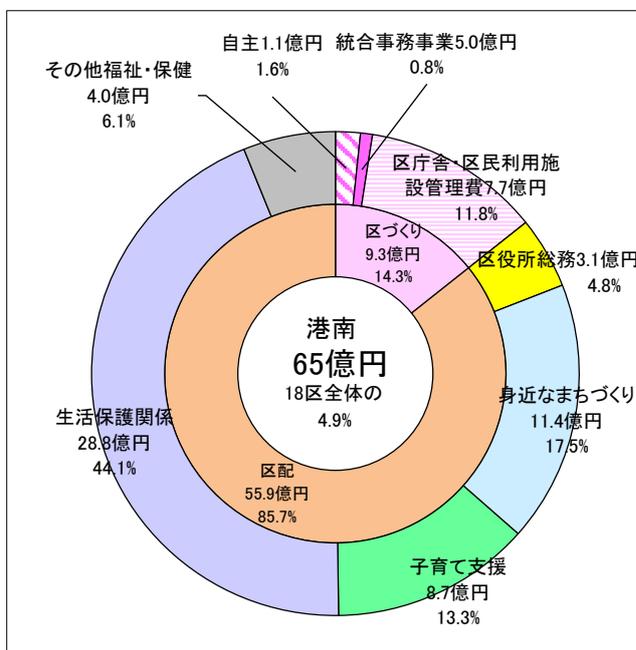
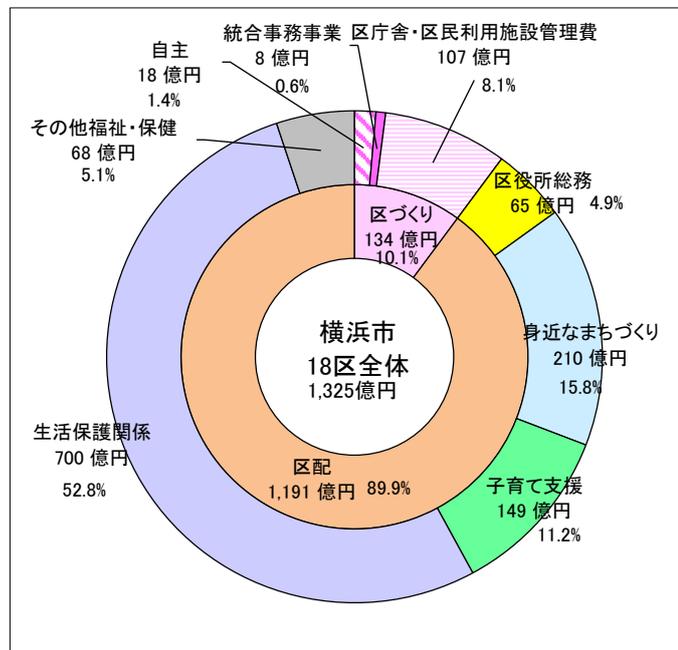
【16,936千円】

区民の皆さまを心をこめて温かくお迎えし、「来てよかった」と感じていただける区役所づくりを進めます。区民生活の基本となる行政サービスを、デジタル技術も活用しながら、お一人おひとりの気持ちに寄り添い正確・丁寧に提供します。

事業名 予算額：千円	事業の内容	備考
24 こうなん区政推進事業 R4 予算額：5,610 R3 予算額：1,415 増△減：4,195	区民ニーズや地域課題を的確に把握し、その解決に向けて関係機関等と調整を行うとともに、区運営方針に掲げた目標達成に向けた取組を実施 1 区民意識調査 <u>区政に対する区民の意見を聴き、今後の区政運営に活用するため、区民意識調査を実施</u> （3年に1度実施） (1) 調査対象者 満18歳以上の区内在住者 4,000人 （外国籍区民 40人を含む） (2) 実施時期 5月18日～6月20日 2 デジタル化推進【新規】 <u>オンラインを活用した取組など、デジタル社会に対応した施策を推進し、事業効果を高めるとともに区民の利便性を向上</u>	区政推進課 区政推進課 総務課
25 総合案内充実事業 R4 予算額：3,282 R3 予算額：4,026 増△減：△744	区民が満足し、便利で親しみやすい区役所を目指すため、総合案内窓口に対処経験豊富なスタッフ（ひまわりコンシェルジュ）を引き続き配置し、窓口案内を実施 また、コンシェルジュが業務の中で気付いた点等を情報共有することにより、区役所全体の接客改善を実施	区政推進課
26 わかりやすい情報提供事業 R4 予算額：3,162 R3 予算額：1,067 増△減：2,095	隔年発行の区民生活・防災マップ（3月発行予定）、区Webサイト、各SNSや地域情報紙などを活用し、区政情報や生活に必要な情報を分かりやすく提供	区政推進課
27 快適区役所推進事業 R4 予算額：4,882 R3 予算額：5,679 増△減：△797	<u>お客様が、区役所や区民利用施設での時間を快適に過ごしていただけるよう、施設の環境整備・改善等を実施</u> 自動販売機の売上手数料やモニターの広告料などを財源とし、来庁者の利便性向上のための環境づくり、窓口環境の改善の取組を実施 人権啓発講演会（港南公会堂）	総務課 会場開催+オンライン配信

港南区に係る予算のすがた（令和4年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆9,749億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を除く）は1,325億円です。この区が執行している予算に焦点をあてて、各区が主に税金を用いて、どれだけの事務事業を行っているかを示します。



注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

港南区の予算の特徴

令和4年度一般会計予算の中で、港南区の人件費を含まない区が執行している予算の規模は、約 65 億円となっており、18 区全体の予算のおよそ 4.9%を占めています。これは、単純に区民1人当たりには換算すると、約3万円を支出していることとなります。

そのうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は約9億3千万円となっており、港南区に係る予算の約 14.3%となっており、「個性ある区づくり推進費」の中でも「区庁舎・区民利用施設管理費」の割合が高くなっています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、港南区全体の約 85.7%に及びます。その中でも特に「生活保護」に係る予算は 28 億8千万円となっており、区配付予算の半分以上を占めています。また、保育所の運営費や放課後児童健全育成など「子育て支援」に係る経費は8億7千万円で港南区全体の 13.3%を占めています。「身近なまちづくり」として約 11 億4千万円、港南区全体の 17.5%を占めている予算は、土木事務所が執行する予算で、身近な道路・公園等の管理運営に係る経費となっております。

このように港南区の予算は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための自主企画事業を始め、局からの予算配付を受け、局に代わり区民生活に密着した福祉や保健、子育て、身近なまちづくりなど、区民生活を支える重要な事務事業を担っています。

主 な 事 業 内 容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	930	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	108	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費	52	広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費です。
区庁舎・区民利用施設管理費	771	区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	5,591	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	312	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	79	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	16	「広報よこはま」や「県のとより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	0	各種統計調査を行うための経費です。
地域活動推進費等	216	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,139	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,325 百万円
道路修繕費等	855	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	66	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(186)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	218	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	866	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
民間保育所運営	0	一時保育や休日保育などを実施する民間保育所の運営費
市立保育所運営	79	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	585	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
地域子育て支援拠点等	201	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	2,875	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	2,815	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	60	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	399	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	143	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	29	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
地域ケアプラザの管理運営等	227	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
合 計	6,521	(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 6,707 百万円

※各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

※年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。
(現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています)



ハチサン
83太郎

I 基本目標



～ 愛あふれる ♡ ふるさと港南に ～



- ◇ 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」
- ◇ 区民生活の基本となる「行政サービスを正確・丁寧を提供する区役所」

II 目標達成に向けた施策



地域の皆さまと協働で進める地域づくり

地域の皆さまと共に策定した「第4期港南ひまわりプラン(地域福祉保健計画)」を推進しながら、「withコロナ」でも顔の見える関係を大切に、地域の中で見守り、支えあい、誰もがいきいきと暮らしていくことができる「協働による地域づくり※」を進めます。

- 施策1 安全・安心のまちづくり
- 施策2 見守り・支えあいのまちづくり
- 施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
- 施策4 住み続けたいまちづくり

※「協働による地域づくり」とは？

地域住民が地域課題の解決に向けて取り組む活動において、自分たちで出来ることは自分たちで行い、地域住民だけでは対応できない課題がある場合は、行政等がともに考え支援することで地域課題の解決につなげ、より住みやすいまちづくりを進めること。



区民の皆さまに寄り添う身近な区役所の運営

新型コロナウイルス感染症対応を最優先の業務としてとらえ、区の総力を挙げて取り組みます。区民生活の基本となる行政サービスを、お一人おひとりの気持ちに寄り添い、正確・丁寧を提供します。

- 施策5 正確・丁寧な行政サービスの提供

「デジタル区役所」の推進

「デジタル区役所」のモデル区として、デジタル技術を活用した取組にチャレンジします。

【港南区におけるデジタル推進の目標】

- 1 区民の皆さまに「便利になった」と感じていただけるデジタル
～行政サービスの利便性向上につながる取組みにチャレンジします～
- 2 地域の交流と活動を支えるデジタル
～デジタル技術を活用し、地域で活動される方々を支援します～
- 3 職員も「業務改善・効率化」が感じられるデジタル
～時間を生み出し、区民の皆さまと向き合う時間を増やします～

【港南区が目指すデジタル】
あったかデジタル 港南

III 目標達成に向けた組織運営



地域に寄り添った組織運営!

地域に寄り添う姿勢を大切に、チーム港南として庁内横断的に目標達成・地域課題の解決に向けて取り組みます。



区民の皆さまに寄り添った窓口対応!

一人ひとりが区役所の顔であることを意識し、区民の皆さまの気持ちに寄り添い、正確かつ丁寧な窓口対応を行います。



積極的な情報発信!

イベントや事業等の取組のほか、区民生活に必要な情報を積極的に区民の皆さまに向け発信します。



人材育成・働き方改革の推進!

日頃から個々の能力を存分に発揮できる職場づくりにより、皆さまに信頼される人材を育成します。また、お互いに協力しあい、効率的な業務遂行により働き方改革を推進します。

目標達成に向けた施策

令和4年度は各事業においてイベントや講演会等を直接体験すること(リアル)と、映像等を通して間接的に体験すること(オンライン)を併せて行うこと(ハイブリッド)を基本方針とします。
【該当する事業には★印を付けています。】

施策1 安全・安心のまちづくり



港南ひまわり83(ハチサン)運動
地域とともに子どもを見守る83太郎

～地震や風水害への対策、災害時要援護者の支援、
食品衛生やペットの相談、防犯・交通安全の推進～

主な取組

【災害に強いまちづくり】

- ・地域防災拠点や風水害避難所への感染症対策物品の配備を進めます。
- ・電話の自動音声により避難場所の開設情報等を確認できる緊急時情報伝達システムを活用します。
- ・食料や飲み水の備蓄に加え、トイレパックの備蓄や家具転倒防止対策の充実により、いざという時にも住み慣れた自宅での避難ができるような「在宅避難」の備えをPRします。
- ・避難所における動きをゲーム感覚で体験できる避難所運営ゲーム(HUG)及び体育館・学校見取り図をセットにして全ての地域防災拠点に配布します。
- ・区民の防災・減災意識の向上のため防災講演会を開催します。★
- ・いざというときに、災害時要援護者(避難誘導や避難生活などで支援が必要な方)への支援が円滑に行われるように、地域の中での取組をサポートします。
- ・福祉避難所版HUG(避難所運営ゲーム)を活用し、福祉避難所運営訓練の充実を図ります。

【安全で快適な生活の推進】

- ・ペットの飼い主向けの災害対策講習会を開催します。★
- ・動画やパネルを活用した食中毒予防の啓発を行います。★

【防犯・交通安全の推進、子どもの見守り】

- ・特殊詐欺の被害や子ども・高齢者の交通事故を防ぐため、地域や警察と連携した取組を進めます。
- ・ふだんの生活の中で登下校時(8時頃と3時頃)の子どもを見守る環境づくりを行う「港南ひまわり83(ハチサン)運動」を地域全体で進めます。

施策2 見守り・支えあいのまちづくり



港南ひまわりプラン
プロモーション用ラッピングバス

～地域での見守り・支えあい、障害理解の啓発、
自治会町内会運営のサポート、青少年の健全育成～

主な取組

【高齢者や障害者の見守り・支えあい】

- ・「あいさつ」や「声かけ」をきっかけにした、ゆるやかな見守りに協力してもらおう見守り協力事業者への呼びかけを地域ケアプラザと連携して進め、皆さんの取組を「まちの見守り通信」として発信します。
- ・高齢者・障害者の方が「お守り」「ひまわりホルダー」の周知を進めます。
- ・幅広い世代の方に認知症の方への正しい理解と接し方を啓発するため、世界アルツハイマーデー(9月)に合わせ、港南区内を運行するバスに車内広告を掲載します。
- ・令和3年度にスタートした「第4期港南ひまわりプラン」の認知度向上を図り、地域における見守り・支えあいの取組を浸透させていくため、動画の配信や啓発を行います。★
- ・誰もが一緒に楽しめるスポーツを通じた障害者と地域との交流支援や、区内事業所の紹介動画の制作・配信など、地域で障害理解を進める取組を行います。★

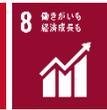
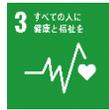
【自治会町内会運営のサポート】

- ・地域でのつながりづくりの新たな仕組みとして、オンライン会議などICTの活用を検討する自治会町内会に対し、ICTに関する相談・支援や機器導入費の補助などを行います。

【青少年の健全育成】

- ・「こうなん子どもゆめワールド」の開催など、子どもたちの夢や希望を応援する取組を行います。★

施策3 誰もが元気で 健やかに暮らせるまちづくり



ベジメータ測定の様子

～幅広い世代の健康づくり、切れ目のない子育て支援、
高齢者への支援、地域での文化・スポーツの振興～

主な取組

【健康アクションこうなん5の推進】

- ・働き世代の健康づくりを進めるため、事業者の皆さまと一緒に「健康経営」に取り組みます。
- ・野菜摂取量を測定できる「ベジメータ」を活用し、野菜を通じた健康づくりを支援します。
- ・「健口体操」のリーフレットや動画により、オーラルフレイル（お口の機能の低下）の予防・啓発を進めます。★
- ・がん検診受診率向上のため、受診勧奨リーフレットを区内医療機関で配布するほか、働き・子育て世代に向け、区役所肺がん検診においてインターネットでの受付や一時保育を実施します。

【切れ目のない子育て支援】

- ・妊娠期から出産、乳幼児期、就学時にわたり、子育てに関する相談や情報発信など親子に寄り添った切れ目のない支援を充実させていきます。また、虐待等への職員の対応力を向上させます。★

【高齢者が自分らしく暮らせるような支援】

- ・高齢者が自分らしく安心して生活できる地域づくりを進めるため、認知症や介護予防、権利擁護の普及啓発を行います。
- ・買い物が困難な高齢者等の支援を目的として、事業者と地域が連携した移動販売を支援します。また、移動販売を通じて、外出機会の促進や社会参加、介護予防等につながる取組を進めます。

【読書活動の推進】

- ・「港南区読書活動推進目標」に掲げる「つなぐ」「はぐくむ」「ひろめる」の実現を目指し、親子を対象としたわらべうたと絵本の講座や講演会等、地域で読書に親しむ事業を実施します。

施策4 住み続けたいまちづくり



緑のカーテン育成の授業の様子

～街並みの美化、ヨコハマ3R夢プランの推進、階段や通学路など
道路環境の改善、温暖化対策、まちの魅力発信～

主な取組

【街並みのクリーンアップ】

- ・河川のクリーンアップや、道路・公園など地域の中で美化活動をする皆さんの取組を支援します。

【ヨコハマ3R夢プランの推進】

- ・小・中学生を対象にした3R夢動画コンテストやプラスチック削減をテーマにした講演会などによる啓発を進めます。★

【歩行者の安全に配慮したまちづくり】

- ・公道の階段に手すりの設置・補修を行うことなどで、安心して外出できる環境づくりを進めます。
- ・子どもたちの安全を確保するため、通学路の安全施設や路面表示の新設・補修を進めます。

【温暖化対策の推進】

- ・省エネや節電に対する意識を高め、行動変容を促すため、区内企業等と連携した一斉消灯を実施します。
- ・港南図書館や区内商業施設等での地球温暖化対策パネル展等で省エネを啓発します。

【まちの魅力発信と区への愛着を高める取組】

- ・「港南区デジタル観光マップ」による情報発信や区オリジナルの婚姻届受理証明書、デジタルフォトフレームの作成など、区役所を身近に感じていただける取組を進めます。

施策5 正確・丁寧な行政サービスの提供



【新型コロナウイルス感染症への対応】

・感染症に関する情報提供や相談対応、区庁舎等における感染予防などに区を挙げて取り組みます。

【区民生活の基本となる行政サービスの提供】

- ・手続きが関連する窓口が連携し、区民の皆さまの利便性向上に努めます。
- ・支援を必要としている方々に対して、各窓口や関係機関が連携して各種制度を的確に運用し、一人ひとりに寄り添った支援を行います。

【わかりやすい情報提供】

- ・区民の皆さまに「寄り添った」窓口対応、「伝わる」広報に取り組みます。
- ・広報よこはまや区ウェブサイト・SNSなど様々な媒体を活用して適切・的確な情報発信を行います。

区民の皆さまに身近に感じていただける区役所づくりを進めます！

総務課

災害対策や選挙・統計事務を推進し、庁舎管理、庁内調整を通じてチーム港南を支えます。

区政推進課

「伝わる広報」「ずっと住み続けられるまちづくり」「デジタル区役所の推進」に取り組みます。

地域力推進担当

地域に積極的に出向き、地域活動者と顔の見える関係を構築し、地域支援を進めます。

地域振興課

自治会町内会や地域で活動する皆さまと協力しながら、住みやすい地域づくりを進めます。

戸籍課

私たちの取扱う公証は、区民生活の根幹をなすことを意識し、親切・丁寧な対応を行います。

税務課

丁寧でわかりやすい説明を心がけ、区民の皆さまから信頼される税務行政を目指します。

区会計室

会計事務を迅速・正確に行い、職員の会計知識向上を図りながら、各課の事業をサポートします。

福祉保健課

見守り、支えあい、交流、港南ひまわりプランを推進し健康アクションこうなん5で健康に！

生活衛生課

食の安全や暮らしの衛生を支援する、安全・快適生活サポーターを目指します。

高齢・障害支援課

高齢の方や障害のある方が安心して自分らしく過ごせるよう、気持ちに寄り添った支援を進めます。

こども家庭支援課

切れ目のない子育て支援を進め、安心して子育てができる地域づくりを目指し、子どもたちの健やかな育ちを支えます。

市立保育園(4園)

安心安全な保育環境を整え、地域の子育て関連施設とつながり子育てを応援します。

生活支援課

生活にお困りの方に寄り添い、的確な支援を行います。子どもたちの学習支援や就労支援も進めます。

保険年金課

わかりやすく丁寧な説明を心掛けるとともに、個人情報の適正な管理に努めます。

港南土木事務所

日頃から災害に備えるとともに、道路・下水道・河川・公園の維持管理に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

港南図書館

「つなぐ・はぐくむ・ひろめる」をモットーに、区民の皆さまに、読書の楽しさをお届けします。

コロナ禍での港南区の取組

昨年度は、会議やイベント等の開催が難しい中、オンライン会議や動画配信など、デジタル技術を活用しながら事業を進めました。

「こうなん子どもゆめワールド」の動画配信では、会場の定員を大きく超える4,000人以上の方にご視聴いただき、遠方に住むご家族の方からも好評でした。令和4年度も引き続き、デジタル技術を活用し、工夫をしながら各事業を進めてまいります。



「こうなん子どもゆめワールド」の舞台発表 (Youtubeによる動画配信を行いました。)

SDGs ～「誰一人取り残さない」社会を目指して～

「SDGs (エスディー・ジーズ)」は、「誰一人取り残さない」を基本理念とする国際目標です。

この基本理念は基礎自治体にもあてはまる考えであり、港南区としてもSDGsの17の目標を意識し、あらゆる施策に取り組んでまいります。



新型コロナウイルス感染症への対応

1 第6波からの区内感染状況等

新型コロナウイルスの陽性者数は令和4年1月以降、全市的に急増し、港南区では2月5日から11日の1週間の陽性者数が過去最大の1,266件（1日最大250件（2/7））となりました。その後増減を繰り返しながら逡減し、5月以降は1週間の陽性者数が約200件前後で推移しています。

- ・港南区の累計陽性者数（5/31時点）：14,210件（18区中10位）
- ・港南区の人口（令和2年国勢調査）：215,248人（18区中7位）



2 これまでの新型コロナウイルス陽性者対応状況

- ・第6波で陽性者が急増した令和4年1月以降、派遣職員の増員、局職員による応援、区職員の職場間応援の拡充など、あわせて30名程度を増員するなど、港南区民の安全安心のため区一丸となって対応を進めました。
 - ・横浜市病院協会看護専門学校（港南区港南台）の看護学生に、データ入力や自宅療養者への電話連絡等の応援をいただきました。（第5波：計15人 第6波：計13人）
- ※タウンニュース（港南区・栄区版 令和4年3月10日号）で紹介されました⇒
- ・現在は陽性者数が落ち着いていることから、応援体制を組まずに対応しています。



3 これまでのワクチン接種対応状況

(1) 港南区のワクチン接種者数及び接種率（※12歳以上の人口）

	接種者数	接種率
1・2回目接種（1/3時点）	172,195（18区中7位）	87.8%（18区中1位）
3回目接種（5/31時点）	132,960（18区中7位）	67.8%（18区中2位）

(2) 港南区内のワクチン接種場所

- ・市が予約を受け付ける医療機関（5/16時点） 計89機関（1/14時点 58機関 ※前回資料より）
- ・直接予約を受け付ける医療機関（5/16時点） 計30機関（1/14時点 26機関 ※前回資料より）

(3) 区庁舎相談窓口の状況

3回目の接種券発送時には最大で1日あたり400名以上の相談者がありましたが、区職員も応援体制を組んで丁寧な対応に努め、大きな混乱なく予約代行等の支援を行うことができました。

現在では、1日あたり20～30件程度の相談件数で推移しています。なお、4回目接種への対応のため、現在2名体制の相談員を、6/15から4名、7/1から6名に増員する予定です。

横浜 DX 戦略(素案)

YOKOHAMA DX STRATEGY

アクション編

令和4(2022)年6月
横浜市デジタル統括本部



重点方針 3 地域の交流と活動を支えるミドルレイヤーのエンパワーメント

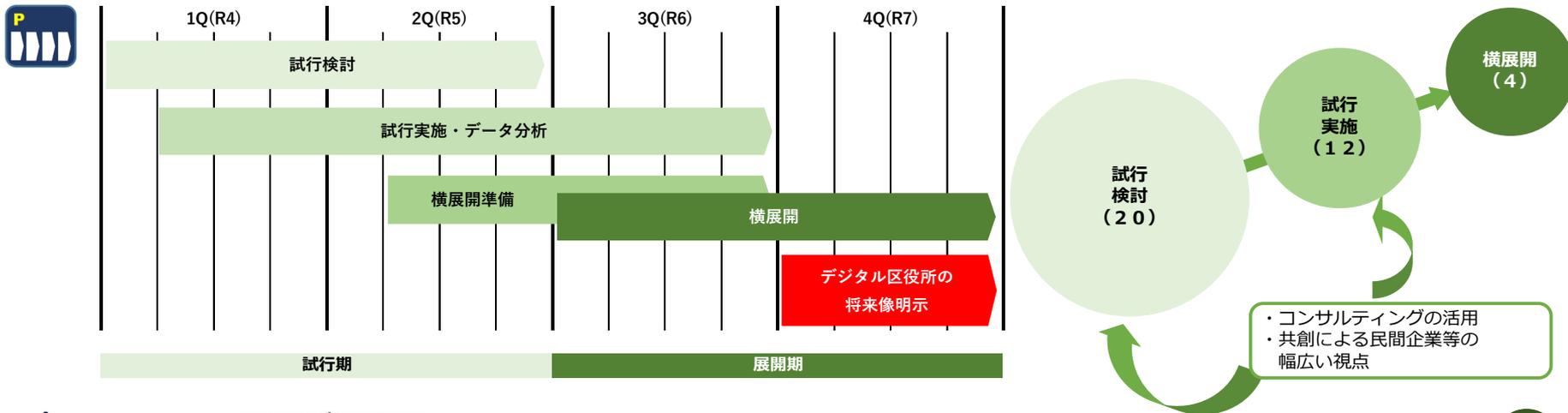
① デジタル区役所の推進

- ✓ 「書かない・待たない・行かないそしてつながる」をコンセプトに様々な実証実験を展開します。
- ✓ 1Qからモデル区を中心に実証実験を開始し、各区での様々な取組を通して4Qにデジタル区役所の将来像を明示します。

区役所において、多様化・複雑化する市民ニーズや地域課題に限られた人員で対応していくためには、デジタル技術を活用した行政サービスの利便性向上や業務効率化の実現が必要です。そこで、「書かない・待たない・行かないそしてつながる」をコンセプトとした「デジタル区役所」の将来像を検討するため、モデル区（西区・港南区）を中心に様々な実証実験を行います。モデル区では先行プロジェクトを立ち上げ、時間やコストの削減、サービスの創出などを目指し、具体的な取組を検討・試行します。

前半の2か年を「試行期」として主に検討と試行を行い、後半2か年の「展開期」で横展開を目指します。先行プロジェクトごとに順次取組を進め、効果のある取組を成功事例として見出していきます。4Qには実証実験等を通して得た知見を踏まえ、デジタル区役所の「将来像」を明示します。

なお、取組の検討・実施にあたっては、デジタル技術を効果的に導入できるようコンサルティングの活用や共創の手法など様々なリソースを投入し、区役所の取組が効率的に進むようサポートします。



デジタル区役所のコンセプト

書かない・待たない・行かない そして つながる

3つの「ない」と、「つながる」区役所へ

市民の視点

職員の視点

■ 書かない

紙に手書きすることなく、手続やサービス等の申請ができる

申請書等から業務システムへのデータ入力を省略化・必要最小限に

■ 待たない

オンライン予約や動画による事前の手順確認で、待たずにサービスを受けることができる

予約による事前準備や動画による説明の省力化で、窓口対応をスムーズに

■ 行かない

区役所に行くことなく、自宅や地域拠点からオンラインで相談や手続ができる

会議参加や情報共有、決裁などが自宅や出張先からできる、新しい働き方へ

■ つながる

❖ すぐに情報が伝わる

- SNSやアプリ、デジタルサイネージなどを活用したプッシュ型広報で、個々のニーズに合わせた情報がキャッチできる

- 防災情報・被害状況を迅速に収集、避難が必要な市民へより早く、正確に情報を伝えることができる

❖ 地域の交流・活動がしやすい

- スマホや身近な地域拠点からオンラインで活動・交流できる
- 会議や活動報告、情報共有等がリモートでできる

モデル区の先行プロジェクト

西区、港南区のモデル2区で先行プロジェクトを実施し、成功事例から横展開につながる取組を創出します。

テーマ	先行プロジェクト※	実施区	取組内容
書かない	書かない窓口 (MNカードの活用、待ち時間短縮)	西区	<ul style="list-style-type: none"> ・MNカードを利用した申請書自動作成システム導入 ・スマホ等を利用した申請書の事前作成の仕組みを検討
待たない	手続案内動画の作成	西区 港南区	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が行っている事業説明を動画視聴の形に変更し、スムーズな案内を実現
	来庁予約システム	港南区	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にオンラインから来庁の予約を受け付け、予約を行った方に対して優先的に手続
行かない	行かなくていい区役所 (オンライン相談窓口の新設)	西区	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口、電話に加え、オンライン相談の手法を新設 ・身近な地域拠点に区の窓口のサテライト機能を整備
つながる	行政情報スポット設置	港南区	<ul style="list-style-type: none"> ・区内各所に行政情報スポットとして、デジタルサイネージの設置拡充
	区連会でのデジタル活用 (ペーパーレス化、リモート会議)	西区	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の電子配付(印刷・配送・資源の削減) ・会長宅や外出先から区連会にリモート参加
	防災の情報収集強化、初動迅速化 (AI等を活用した情報の自動収集)	西区	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を情報源に、AI等を用いて自動で情報を収集・解析し、迅速な初動対応につなげる

※先行プロジェクトは令和4年6月時点で実施予定のものを掲載しています。

※MNカード：マイナンバーカード
※区連会：区連合町内会

モデル区の実践概要（抜粋）

待たない

■ 手続案内動画の作成 【西区・港南区】

〔課題〕 区役所窓口で行う手続案内は、同じ内容の説明を繰り返し行っているものもあり、混雑時などは市民の待ち時間が発生しています。

〔解決策〕 手続に必要な書類や流れをわかりやすく案内する動画を作成し、待ち時間に、共通的な説明を事前確認いただくことで、スムーズな手続の実現を目指します。



例えば、港南区では令和3年度に「新型コロナウイルス感染症」に関する案内動画を作成したところ、10万回以上の再生がありました。

このように、動画のニーズが示された一方で、作成にかかる職員負荷も課題となっています。そのため、動画作成支援ツールを試行導入することで効率化を図ります。

■ 来庁予約システム 【港南区】

〔課題〕 区役所窓口では、基本的に来庁順に手続を行うことから、混雑による待ち時間の発生や、自分の手続が始まる時間の見通しが立てづらい状況となっています。

〔解決策〕 事前にオンラインにより来庁日時の予約を受け付けるシステムを導入し、待ち時間の短縮と、市民が自分の予定をスケジュールリングしやすくします。



また、予約状況を公開することで、区役所の混雑度を見える化します。

新型コロナウイルス感染症

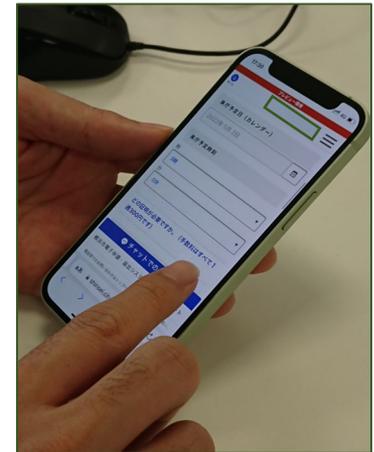
濃厚接触者向け
保健所からのお知らせ
(5分)

横浜市港南福祉保健センター(保健所)から
濃厚接触者と判断された方へ

新型コロナウイルス感染症

濃厚接触者向け
ご自宅での過ごし方について
(7分)

横浜市港南福祉保健センター(保健所)から
濃厚接触者と判断された方へ



モデル区の実践概要（抜粋）

つながる

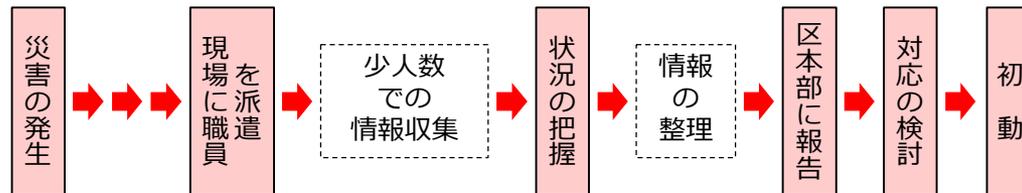
■ 防災の情報収集強化、初動迅速化（AI等を活用した情報の自動収集） 【西区】

〔課題〕西区は、横浜駅やみなとみらい21地区など様々な都市機能が集積し、多数の来街者が訪れる都心部を擁しているため、災害発生時の情報収集や、初動対応の迅速化が課題となっています。また、消防など関係団体との連携を強化し、都市全体の防災力を向上する必要もあります。

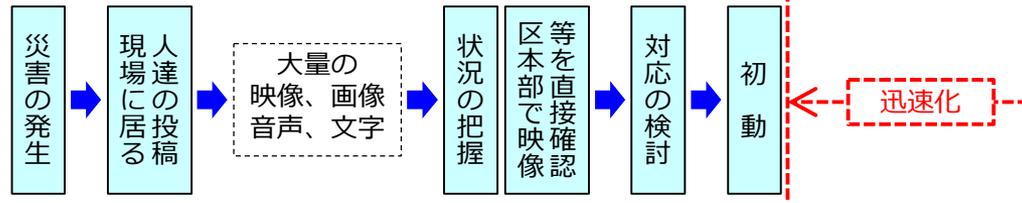
〔解決策〕①SNS上に溢れる多様な情報源をAI等を用いて自動で収集・解析する仕組みを導入し、迅速な初動対応に繋がります。
②収集した情報を最大限活用するため、デジタル技術を活用した消防・土木事務所等との情報共有の仕組みを構築します。

〔取組イメージ〕

〔現在〕



〔導入後〕



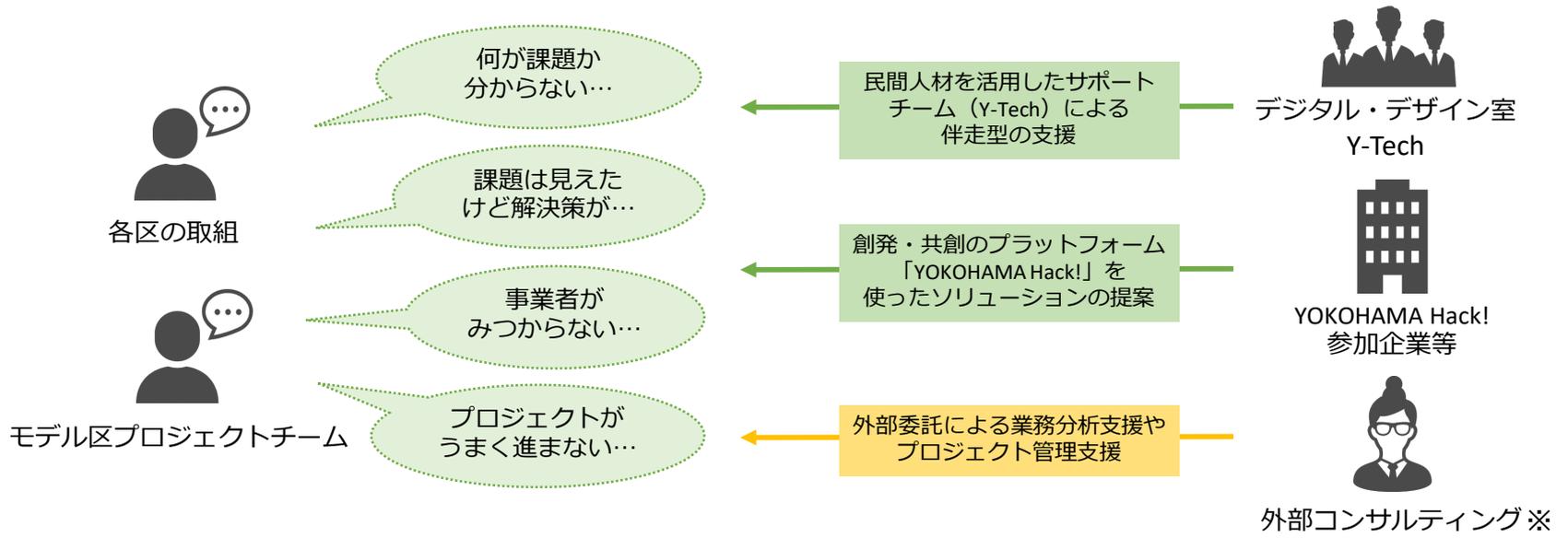
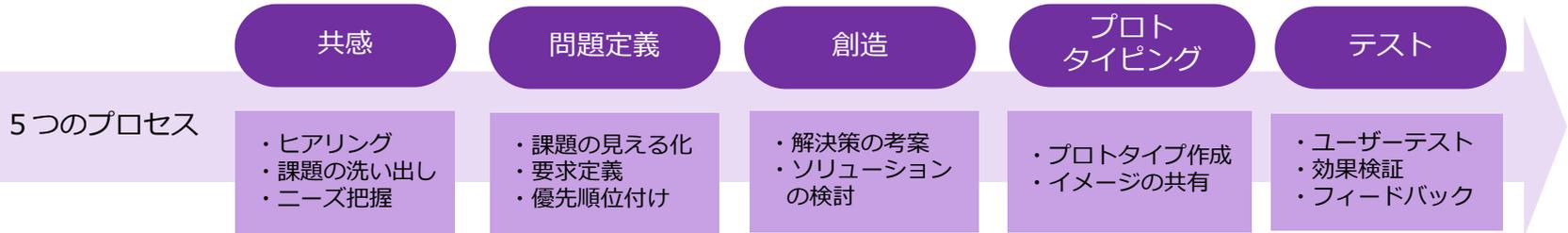
WEBサービスイメージ



※収集した情報も併せて、総合的に判断して対応します。

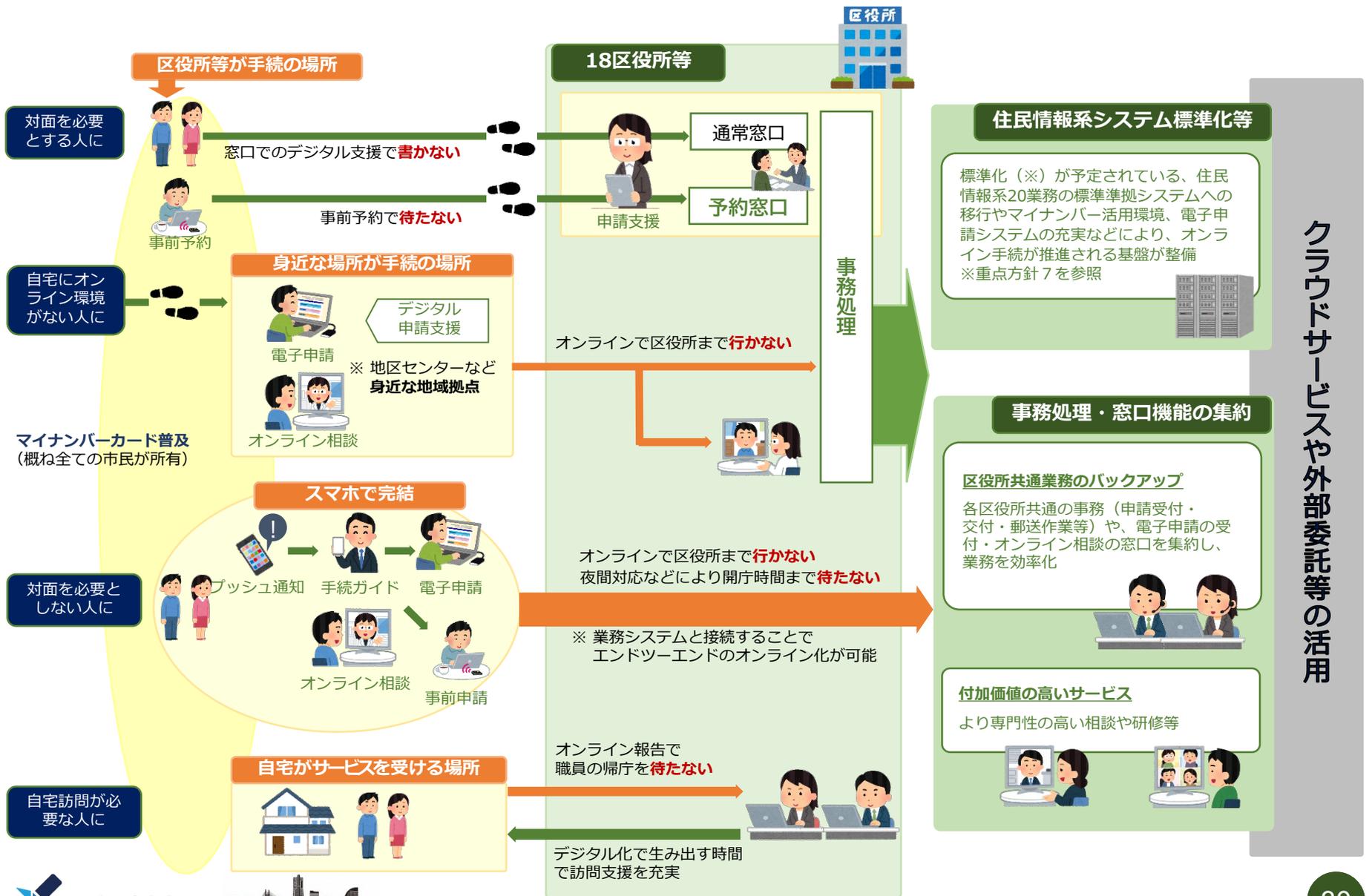
区役所への伴走型サポートの仕組み

「デザイン思考」を基本姿勢とした「デジタル×デザイン」を実践します。デジタル統括本部デジタル・デザイン室のサポートチーム（Y-Tech）を中心に、モデル区をはじめ、各区の取組を伴走型で支援します。



※ 外部コンサルティングによる支援はモデル区が対象

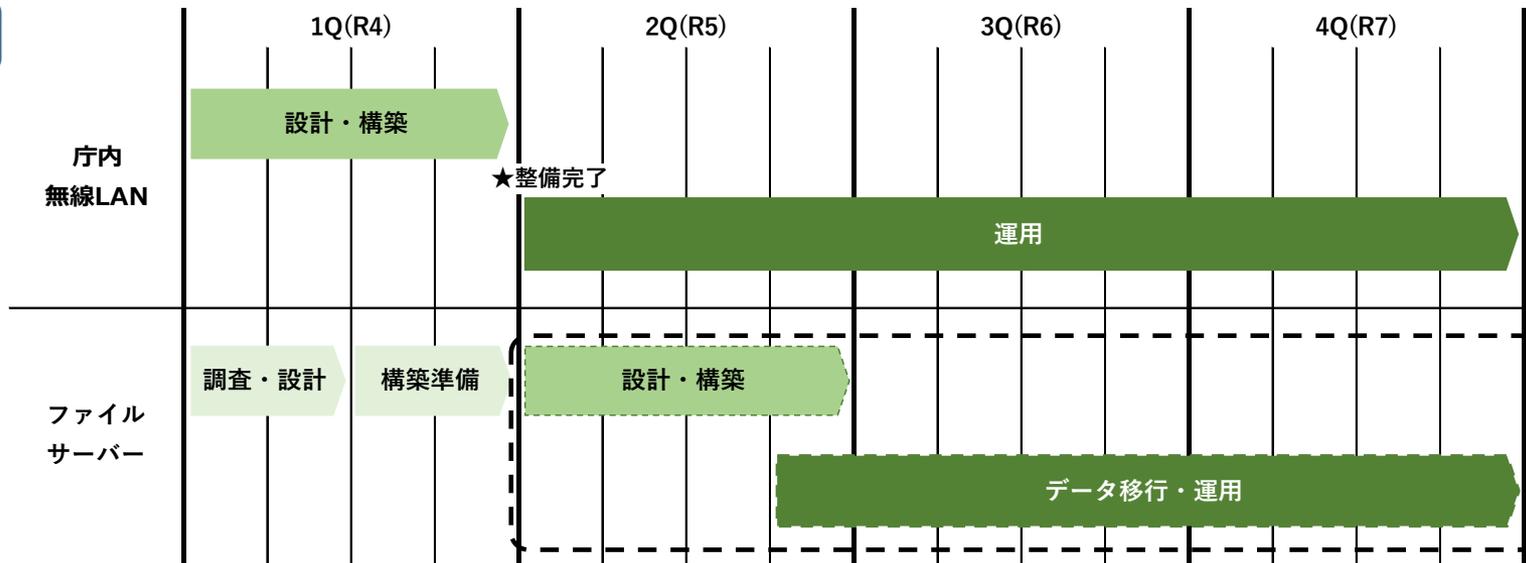
◆ “書かない・待たない・行かない” デジタル区役所が目指す手続・相談等のイメージ YOKOHAMA DX STRATEGY



②区役所のデジタル環境整備

- ✓ 1Qに、**庁内（内部事務用）無線LANの整備を完了します。**
- ✓ 1Qに、**区役所の業務に使用するファイルサーバーの現状調査と方式設計を実施し、2Qから移行を進めます。**

現在、区役所には庁内無線LANが整備されておらず、情報を保管するファイルサーバーも基本的に各課に配置しています。そのため、区庁舎内ではパソコン端末を持ち運び、その場で必要な情報にアクセスしながら業務を行うことができないなど、ペーパーレス化や、課を越えた連携、応援が実施しにくい状況になっています。これらの課題の解決に向けて、全ての区庁舎に庁内無線LANと共有のファイルサーバーを整備します。



※令和5年度以降のスケジュールは令和4年度の調査・設計内容により決定する予定。

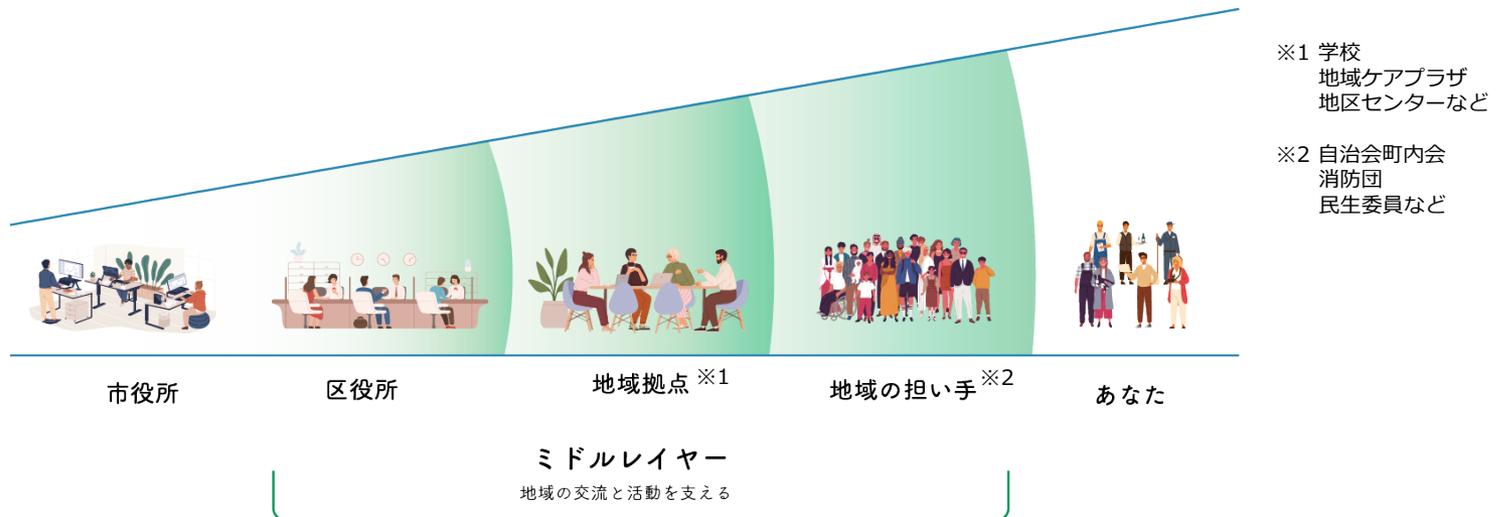
③地域の担い手支援モデルの展開

- ✓ デジタル技術を用いて、地域の担い手の活動を手助けする取組を進めます。
- ✓ 先行モデルとして、**2Qに消防団活動支援アプリを全消防団に導入し、運用を開始します。**
- ✓ **3Q以降、先行モデルのノウハウをもとに、自治会町内会や民生委員など、地域の担い手の活動支援を横展開します。**

地域の担い手と、区役所や地域拠点とのデジタルネットワークを形成し、タブレットやアプリの導入等、デジタル技術を活用した負担軽減を進めることで、新たな担い手の確保につなげます。1Qでは、先行モデルとして消防団活動支援アプリを一部消防団へ先行導入し、2Qで全消防団での運用を開始します。また、そのノウハウを活かして自治会町内会や民生委員などの活動においてもアプリ等の活用支援を検討していきます。



	1Q (R4)	2Q (R5)	3Q (R6)	4Q (R7)
デジタルを活用した地域の担い手支援 (消防団活動支援アプリの導入)	6消防団へのアプリ 先行導入	全消防団での運用開始 アプリ拡張検討	→	→
(地域活動支援の横展開)		スキーム展開の検討	地域担い手支援の実証	地域担い手支援の拡大

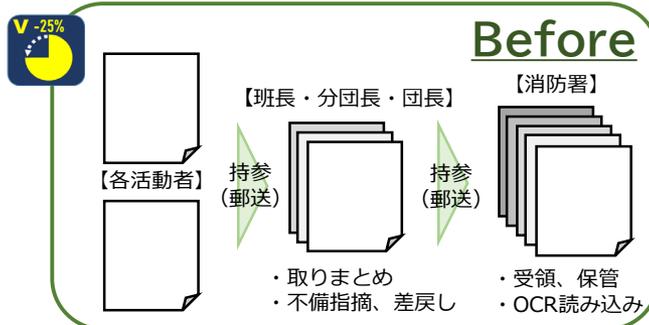


消防団活動支援サービス

令和5年度本格運用開始

◆実証実験を活用した「デジタル×デザイン」

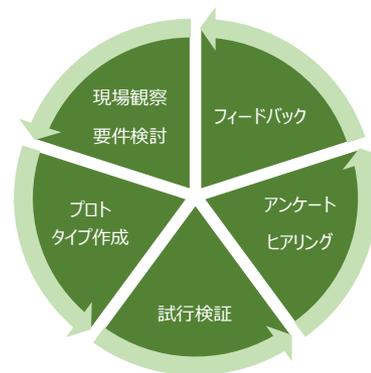
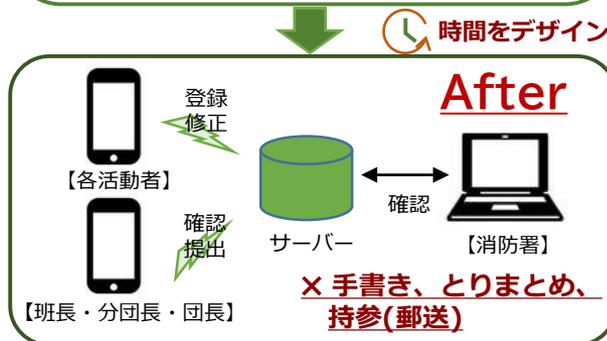
消防団活動に伴う様々な報告事務は、指定された用紙により月ごとに郵送や消防署へ持参するなど、消防団員にとって大きな負担となっています。横浜市では、報告事務のデジタル化に向け、令和3年度に民間事業者2社とそれぞれ協定を締結し、スマートフォンアプリを利用した実証実験を実施しました。



実証実験では、6消防団の各1個分団を2グループに分けて2社それぞれのアプリを試行、計4回のアンケートや意見交換会で消防団員の方々に直接意見を伺いながら開発・改良しつつ、アプリに必要な要件を洗い出しました。

現場の声を都度フィードバックすることを繰り返しながら「アジャイル」なアプローチを進めた、「デジタル×デザイン」のモデルケースです。

横浜市消防団の概要	
区分	R4.4.1現在
消防団	20消防団
消防団員	7,868人 (充足率94.7%)
分団	108分団
班	417班
消防団車両	395台



<検証内容>

必要事項の受伝達が円滑になされているかを主眼に、操作性や視認性、紙の報告との比較などを検証

<実証実験の経過>

- ・参加企業2社と協定締結 (令和3年7月28日)
- ・実証実験期間 (令和3年10月1日～令和4年3月31日)
- ・参加消防団との意見交換会 (令和4年1月24日、25日)



	R3	1Q (R4)	2Q (R5)	3Q (R6)	4Q (R7)
実証実験要件定義		公募・契約一部利用開始 (6消防団)	本格利用開始 (20消防団)	検証・改善 拡張機能の検討	→

④デジタルデバイド対策

- ✓ 1Qから、多様な主体との連携による地域独自の取組への新たな補助制度を創設し、2Q以降に横展開を進めます。
- ✓ 1Qから、民間事業者と連携し、スマートフォン講習会を開催します。さらに、2Qから市のアプリ操作など独自カリキュラムでの開催も目指します。
- ✓ 1Qから、地域BWA（※）の有効活用の検討を行い、3Q以降の実証を目指します。

デジタルデバイド対策として、1Qから、各区役所が、地域の事情に応じてNPO法人や企業など多様な主体と連携して行う独自の取組を、デジタル統括本部が補助制度を創設して支援します。並行して効果検証を進め、2Q以降、有効な取組の他地域への横展開を検討・実践します。その際、モバイル端末を所有していなくても、市民がデジタル化の恩恵を実感できる、オンライン手続や相談などの取組も視野に入れ支援します。

また、利用者の活用スキル向上につながる全市向けのスマートフォン講習会について、1Qから、「YOKOHAMA Hack!」のプラットフォームを活用して民間事業者との連携による開催を始めることに加え、操作方法の講習など画一的なカリキュラムだけでなく、スマートフォンを身近なデバイスとして利便性や楽しさを体感できるよう、独自企画によるカリキュラムの講習会も検討し、2Qから展開します。

さらに、1Qに市内18区への拡大が予定される地域BWAの活用を念頭に、2Qから、パソコンやスマートフォンがなくてもテレビなど他の電子機器で各種情報を受けとる取組や、地域拠点などの身近な場所でインターネットを手軽に利用できる環境整備などの検討を行い、3Qに特定地域等での実証と検証、4Qにサービスの本格実施や他地域への拡大を目指します。



	1Q (R4)	2Q (R5)	3Q (R6)	4Q (R7)
地域の効果的な取組サポート	補助事業の創設、実施	実施、横展開の検討	実施、横展開	→
スマートフォン講習会の開催	全市展開	独自企画講習会も追加	→	→
地域BWAを活用した取組	地域BWAの全市展開	取組の検討	取組の実証	本格実施・横展開の検討

※ 地域BWA：Broadband Wireless Accessの略で、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタルデバイド（条件不利地域）の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システム

デジタルデバイド対策

国が掲げた「デジタル社会の実現に向けた重点計画」では、デジタル化が進展するなかで、年齢、性別、障害の有無、国籍、経済的な理由等によりデジタルの恩恵を十分に享受できない「デジタルデバイド（情報格差）」を生じさせないようにする取組の重要性が打ち出されています。

スマートフォン等の保有率が急速に上昇するなか、スマートフォン等の利用状況については、18～29歳では利用率がほぼ100%に近いのに対し、70歳以上はわずか40.8%にとどまっています（※）。スマートフォンを保有していても操作に不慣れな方々は、デジタル化の恩恵を十分に実感できず、とり残されてしまうことになりかねません。（※出典 内閣府（2020）「情報通信機器の利活用に関する世論調査」）

このため、市域全体での対策を講じながら、加えて、地域や個々人の状況、特性などを十分考慮し、スマートフォン等のデジタル機器を保有していなくても、または利用に不安があっても、デジタル化した市民サービスを不便なく受けられ、利便性を実感できるよう、より効果的と考えられる取組を組み合わせ、幅広い対応を行っていくことが重要です。

横浜市では、スマートフォン講習会など「全市を対象とした取組」で、多くの市民の機器活用能力の向上を図ることに加えて、スマートフォン等がない方でも、地域でデジタルの恩恵が実感できるよう、企業や地域、NPO法人等との協働とそれぞれの特性に応じた「企業連携やターゲット志向の取組」を組み合わせた、重層的な対策を講じていきます。

特に、企業や地域との連携やターゲット志向の取組は、「YOKOHAMA Hack!」などの共創の仕組みの活用や民間事業者からの提案の実証とともに、施策の実施→効果の検証→改善点の検討、というプロセスを繰り返しながら、デジタルデバイド対策として有効と考えられる取組を、他地域に横展開していくことで、効果の最大化を図っていきます。



BWA（広帯域移動無線アクセス）とは

◆BWA（Broadband Wireless Access）とは

公衆向け広帯域通信サービスを行うための移動無線システムです。
平成19（2007）年に、従来より高速なブロードバンドサービスの提供を行うため、2.5GHz（=2,500MHz）の周波数帯域の電波を使用し、次の2つの区分が制度化されました。

- ・日本全国を対象として通信サービスを行う「全国BWA」
- ・各地域を対象とする「地域BWA」

◆地域BWAとは

地域の公共サービス向上や、デジタルデバイド（基地局からの無線電波が届きにくい地域）の解消など、「地域の公共の福祉の増進に寄与する」ことを目的として、総務省から、1つの市町村につき原則1事業者のみに無線局免許が与えられ、免許事業者が、その市町村と連携して通信サービスを提供する無線システムです。

◆地域BWAの特長

地域BWAの携帯電話用SIMカードなどを使用することにより、携帯電話キャリア（NTTドコモやau、ソフトバンク、楽天モバイルなど）が提供する通信サービスと同様に、携帯電話での通話やインターネット接続、その他各種の無線通信サービスを提供・利用することができます。

通信の優先度を柔軟に設定できるうえ、専用の無線帯域を一定の利用者のみで使用できるため、「災害発生時や緊急時の安定した情報受伝達手段」などでの活用が期待されます。

◆横浜市の取組

横浜市では、イツツ・コミュニケーションズ株式会社が地域BWAの免許事業者です（現在は市内7区で整備済。令和4年中に全市域へ拡大予定）。
地域BWAの目的を踏まえ、横浜市は免許事業者と連携して、横浜市内における通信サービスの活用を検討します。

【主な検討内容】

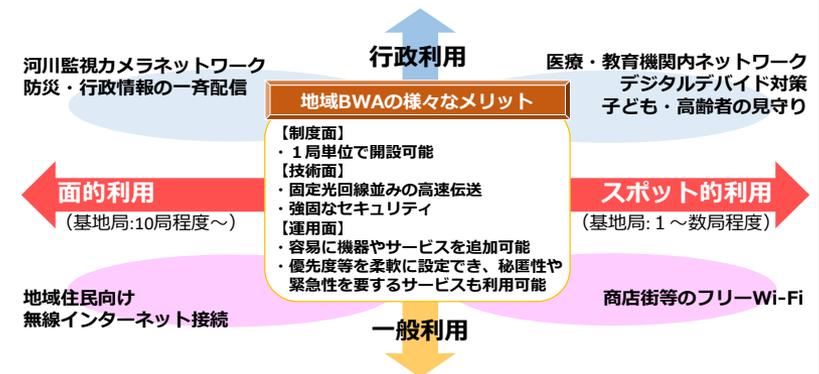
- ・情報伝達基盤の整備（モバイルルーターの整備等）
- ・災害発生時などの情報受伝達
- ・地域におけるデジタルデバイド対策

BWAの周波数帯域



※全国事業者（携帯電話・BWA）及びその関連事業者は、地域BWA無線局の免許主体となることはできません

地域BWAで想定されるサービス



<総務省資料：『地域BWA制度の概要 Ver. 3.8』(令和3年1月)から抜粋、改変>

令和4年6月8日
第2回区づくり推進
横浜市会議員会議資料

「デジタル区役所」モデル区としての取り組みについて

1 港南区におけるデジタル推進の目標

- 1 **区民**の皆さまに「便利になった」と感じていただけるデジタル
～行政サービスの利便性向上につながる取り組みにチャレンジします～
- 2 **地域**の交流と活動を支えるデジタル
～デジタル技術を活用し、地域で活動される方々を支援します～
- 3 **職員**も「業務改善・効率化」が感じられるデジタル
～時間を生み出し、区民の皆さまと向き合う時間を増やします～

デジタルの力で区民の皆さまの利便性向上や区役所業務の効率化を進めることで、区民の皆さまと向き合う時間を増やし、これまで以上に「あったかい区役所」を実現します。

【港南区が目指すデジタル】
あったかデジタル 港南

2 テーマ

目標を達成するため「3つのテーマ」を設定し、デジタルに本格的に取り組む最初の4年間（First Step）に、区民の皆さまや職員がデジタルの恩恵を実感できるようスピード感をもって取り組みます。

テーマ	内容
便利な区役所 【目標1】	相談や情報提供などにデジタルを活用したり、手続きのオンライン化を進めるなど、区民の皆さまの便利を追求。
地域と歩む区役所 【目標2】	デジタル化によって「協働による地域づくり」のパートナーである地域の負担軽減を図るなど、地域のデジタル化を支援。
変革する区役所 【目標3】	デジタルを活用した事務見直し等により業務効率化を進め、変革に前向きな組織風土を醸成。

3 具体的な取組

港南区では、令和4年第1回区づくり推進横浜市議員会議でもご説明した「自治会町内会のICT活用支援」、「イベントや講演会等を直接体験すること（リアル）と間接的に体験すること（オンライン）を併せて行うこと（ハイブリッド）」に取り組むほか、新たに次の取り組みの検討を進め、試行実施につなげます。

（1）便利な区役所

取組例	内 容
手続き案内動画の作成	手続きを事前に確認いただくことで、スムーズな窓口を実現。
来庁予約システムの導入	来庁予約を行った方を優先的に受け付けることで、窓口でお待たせする時間を削減。
行政情報スポットの新設	区内数か所にデジタルサイネージを設置し、最新の情報をお届け。

（2）地域と歩む区役所

取組例	内 容
スマホ教室の開催	スマホ操作に不慣れな方に、基本的な操作内容をご案内。

（3）変革する区役所

取組例	内 容
業務へのICT機器の積極活用	WEB会議の開催や無線LANを使用した資料共有など、ICT機器を積極的に活用。移動時間、会議の準備時間の削減やペーパーレス化など、業務を効率化。

4 推進体制

チーム港南でデジタルを推進するため、全課の責任職及び職員からメンバーを選出しプロジェクトを立ち上げます。

プロジェクトでは、各課の取組の共有やスケジュール管理を行うとともに、創発・共創のプラットフォーム「YOKOHAMA Hack!」などから得られた情報、他自治体のデジタルに関する取り組み等を共有し、今後の参考とします。